

I. 推進体制の強化

1. 組織基盤の強化

(1) 理事会

① 第24回理事会 (5月11日)

新規入会会員の件、第7回通常総会付議事項の件について審議を行い、異議なく承認された。また、2022年度事業報告及び2023年度事業計画・収支予算について報告を行った。

② 第25回理事会 (6月5日)

第7回通常総会後に開催し、副会長の選任、新規入会会員について審議を行い、異議なく承認された。

③ 第26回理事会 (11月9日)

新規入会会員の件、2023年度補正予算の件について審議を行い、異議なく承認された。また、2023年度上期事業報告、2023年度下期事業計画及び2024年度事業方針について報告を行った。

④ 第27回理事会 (3月22日)

新規入会会員の件、2024年度事業計画・収支予算の件、第8回通常総会の開催の件などについて審議を行い、異議なく承認された。また、2023年度下期事業報告の他、フェニックスアワード2023の選考を行った。

(2) 総会

① 第7回通常総会 (6月5日)

2022年度事業報告、2023年度事業計画・収支予算についての報告を行ったあと、理事選任の件、2022年度収支決算の件について審議を行い、いずれも異議なく承認された。

その後、記者会見を行い、東北域内外の関係各団体と連携して、様々な取組みを推進して行くことについて松木会長より説明した。また、紺野理事長より、アフターコロナにおける東観推の取組みとして、2023年度の事業計画、特に台湾・タイ等の訪日市場に向けたプロモーションや東北観光DMP、Base!TOHOKU、TOHOKU Fan Club、ドライブルートなどについて説明した。

総会の後は記念講演として、東日本旅客鉄道株式会社 顧問 清野智氏 (JNTO 顧問、東観推元会長) から「観光立国の復活に向けて」の演題にてご講演いただいた。



松木会長 挨拶



記者発表



清野顧問による講演

(3) 広域行政観光推進会議・行政観光戦略会議

① 2023年度第1回行政観光戦略会議 (4月27日)

東北6県、新潟県、仙台市の観光担当課長、他の皆様と共に会議を開催し、「2022年度事業報告」「2023年度事業計画」「大阪・関西万博への対応」などについて意見交換を行った。

② 第4回広域行政観光推進会議 (7月14日～15日)

青森県青森市の南部屋・海扇閣 (浅虫温泉) にて、東北6県、新潟県、仙台市の観光担当部局

長、他の皆さまと会議を開催し、東観推の「2023 年度 主な取組み状況」や「第 5 期中期計画後半に向けた重点施策」などについて意見交換を行った。

翌日は「青森県立美術館」、「ねぶたの家ワ・ラッセ」、「青森県観光物産館 アスパム」の視察を行った。



会議の様子



「ねぶたの家ワ・ラッセ」視察の様子

③ 2023 年度第 2 回行政観光戦略会議（10 月 25 日）

東北 6 県、新潟県、仙台市の観光担当課長、他の皆様と共に会議を開催し、「2023 年度上期事業報告」「今後の事業計画」「各県・市における今後の観光振興方策」などについての意見交換を行った。

④ 2023 年度第 3 回行政観光戦略会議（1 月 24 日）

2024 年度事業計画（案）、各県市の 2024 年度事業計画などについて意見交換を行った。

⑤ 2023 年度第 4 回行政観光戦略会議（3 月 14 日）

2023 年度下期事業報告、2024 年度事業計画・収支予算（案）などについて意見交換を行った。

（4）東北観光戦略会議

① 第 15 回東北観光戦略会議（10 月 30 日）

経済団体、企業の実務責任者、東北 6 県、新潟県及び仙台市の観光協会・連盟の代表の方々が参加し、「2023 年度上期事業報告」「今後の事業計画」などについて意見交換を行った。

議事ではインバウンドの復活により、宿泊者数が急速に回復している一方で、ガイドや宿泊施設など観光人材の人手不足の問題が生じていることについて意見があった。

② 第 16 回東北観光戦略会議（3 月 15 日）

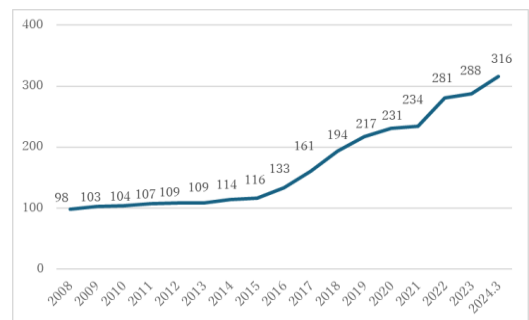
「2023 年度下期事業報告」「2024 年度事業計画」などについて意見交換を行った。

議事では、東北は他地域に比べても連携が図られていると認識しており、引き続き連携を強化して東北のコンテンツの高付加価値化により、競争力を高めて行くことについて意見があった。

（5）会員関係

様々な企業・団体の皆様の力を結集し「オール東北」で観光を推進していくことが不可欠であると考えており、あらゆる機会を捉えて入会のご案内を行うように努めた。

- ・ 3 月末時点：正会員数 316 件（当年度理事会承認 32 件）、賛助会員数 121 件（当年度入会 6 件）



正会員数の推移（2023 年以前は総会時点）

2. 情報発信の強化

（1）講演・執筆・取材対応関係

観光関係団体等からの依頼により、紺野理事長等が講演・取材等の対応を行った。また、新聞等の取材協力や寄稿を通じ、東北観光における広域連携の重要性、東観推の目指す方向性や事業紹介等の情報発信に努めた。

① 講演等

- ・ 宮城県観光誘致協議会令和 5 年度通常総会（5 月 30 日）
- ・ フェニックス塾 入塾式セミナー（6 月 19 日）
- ・ JR 盛岡支社総合現場長会議（7 月 12 日）



七十七ビジネス振興財団セミナーの様子

- ・岩手県観光誘致協議会令和5年度通常総会（7月26日）
- ・宿泊業界における観光と金融に関する全国懇談会（9月7日）
- ・七十七ビジネス振興財団特定テーマセミナー（9月12日）
- ・淑徳大学特別講義（9月29日）
- ・いわて観光グローバル人材育成講座（11月15日）
- ・新しい東北観光シンポジウム（11月25日）
- ・福島・相馬・米沢地域経済開発懇談会（12月5日）
- ・JTB旅ホ連中部支部連合会ホテル部会（1月25日）
- ・青森県上北地域観光推進勉強会（1月26日）
- ・NTTグループ宮城お客様懇話会（1月29日）
- ・大阪・関西万博×宮城県機運醸成シンポジウム（2月6日）
- ・大崎市観光プロモーション研究会（3月13日）
- ・日本外交協会宮城県支部勉強会（3月26日）



淑徳大学講義後、受講生と一緒に

② 取材対応・寄稿

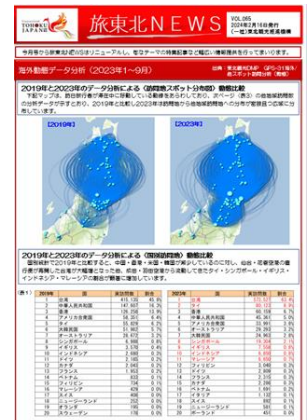
- ・日本経済新聞 東北経済特集（5月29日掲載）
- ・日本銀行仙台支店（6月7日）
- ・朝日新聞仙台総局（6月29日掲載）
- ・三井住友カード「MarkeZine（マーケジン）」web掲載（8月28日）
- ・秋田魁新報 とうほく未来Genki プロジェクト（8月26日掲載）
- ・河北新報 七夕招請事業取材（8月8日掲載）
- ・NHK盛岡放送局 「おぼんですいわて」（8月9日放映）
- ・河北新報 プレアドベンチャートラベル（9月7日掲載）
- ・河北新報・時事通信他 台湾教育旅行招請事業取材（9月26日掲載）
- ・経済同友会からの紺野理事長インタビュー（10月2日）
- ・観光経済新聞「声（VOICE）」渡辺本部長インタビュー（12月4日掲載）
- ・共同通信社からの紺野理事長インタビュー（12月12日）



万博 機運醸成シンポジウムの様子

(2) 会員に対する情報発信の強化

「旅東北NEWS」vol. 55～vol. 66を発行し、毎月の活動報告やデータ分析等を掲載しホームページ上で公開した。また、会員が参加可能なセミナー情報等について、メールマガジンによる情報発信を行った。



旅東北NEWS vol. 65

(3) メディア向け情報発信（プレスリリース）

25件実施し、メディアや関係者を通じた東観推の活動状況の認知向上を図った。（以下、プレス件名）

- ・タイにおいて東北PRイベント「日本東北観光フェア」を開催し一般消費者に東北観光の魅力を発信します（4月25日）
- ・「フェニックスアワード2022」受賞団体の決定について（4月26日）
- ・「第4回FINE+東北Instagramフォトコンテスト」の結果発表について（5月10日）
- ・タイにおける東北PRイベント「日本東北観光フェア」を開催し東北観光の魅力を発信しました（5月10日）
- ・第7回通常総会・記者発表・記念講演会の開催について（5月22日）
- ・一般社団法人東北観光推進機構 新役員体制について（6月5日）
- ・観光人材育成の取り組み 第八期「フェニックス塾」入塾式の開催について（6月9日）
- ・第16回「東北歴史文化講座」を開講します（7月7日）
- ・「第5回FINE+東北Instagramフォトコンテスト」の開催について（7月28日）
- ・台湾の教育関係者を宮城・岩手の震災遺構に御案内します（9月19日）
- ・東南アジア・韓国・欧米から旅行会社・メディア・インフルエンサーを招請し、東北の紅葉の魅力を世界に発信します（10月13日）

・学校関係者向け（修学旅行）秋田県モニターツアーを実施します！（10月19日）

・「フェニックスアワード2023」の募集について（10月23日）

・東北観光推進機構 マーケティング報告会及び海外観光サポートデスク活動報告会の開催について（10月26日）

・東北観光推進機構 記者発表の開催について（10月26日）

・記者発表資料（11月9日）

・マーケティング報告会及び海外観光サポートデスク活動報告会の取材について（11月20日）

・第17回「東北歴史文化講座」を開講します ～三陸漁師の営みを通じて、海と共に生きる精神を学ぶ～（11月20日）

・台湾で東北PRイベント「日本東北遊楽日」及び観光セミナー・商談会を東北の観光関係者と連携し開催します。（12月1日）

・台湾における東北PRイベント「日本東北遊楽日」の開催など官民一体での東北プロモーションを実施しました（12月15日）

・2023年度第2回「東北のプレミアムコンテンツ商談会」の開催について（1月16日）

・海外4か国からメディア・インフルエンサー・旅行会社を招請し、東北の冬の魅力を世界に発信します（1月22日）

・第八期「フェニックス塾」修了発表会ならびに修了式の開催について（2月9日）

・第18回「東北歴史文化講座」を開講します（2月26日）

・フェニックス塾第九期塾生募集（3月7日）



記者発表の様子（11月9日）

II. 海外観光客の誘客促進

1. 広域連携による海外誘客の推進

(1) 訪日プロモーション担当者会議開催

（4月14日、6月23日、8月22日、10月18日、1月16日、3月6日）

東北6県・新潟県・仙台市の訪日プロモーション担当者との情報共有・意見交換を目的として隔月で行うこととしており、インフルエンサー招請事業、タイ現地イベント「日本東北観光フェア」、豪州現地イベント「SNOW EXPO SYDNEY」、JNTO連携事業、台湾現地イベント「日本東北遊楽日」、及び2024年度訪日プロモーション連携事業などについて情報共有・意見交換を行った。



2023年度インフルエンサー招請報告（欧米）



2023年度旅行博出展報告（豪州）



2024年度連携事業スケジュール（案）

(2) 訪日プロモーション事業

① 台湾市場に向けた取組

・仙台＝台南チャーターを利用した台湾プロモーション（6月26日～30日）

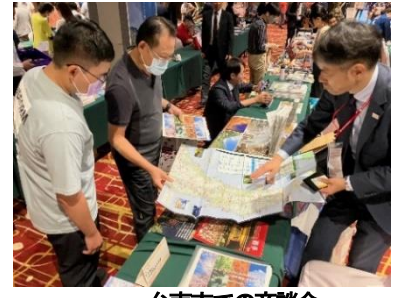
仙台＝台南チャーター便の就航を契機とし、仙台市・山形市・東北の関係者からなる訪問団が仙台市・山形市の友好都市である台湾・台南市を訪問し、関係機関への表敬訪問を実施した。また、台湾の航空会社3社を訪問し現在就航している仙台便の維持や増便、東北各地への就航を要請した。この他、台南市で開催されたBtoB商談会へ参加し、訪東北旅行商品の造成に向けたPRを行った。



台南市政府訪問



航空会社訪問



台南市での商談会

・台湾における東北プロモーション事業（12月6日～11日）

東北における最重要市場である台湾市場において、東北の知名度向上と訪東北旅行商品の増を目的に、東北PRイベント「日本東北遊楽日」及び東北観光セミナー・商談会を実施し、東北・新潟の7県の魅力を強力に発信した。また、本事業に合わせ、東北の自治体・商工会議所等と共に台湾現地航空会社を訪問し定期便の増便やチャーター便就航を働きかけた。「日本東北遊楽日」では、目標を上回る9.3万人以上の来場があり、オープニング前から長蛇の列ができた。特に、自治体や企業のPRブースやインフルエンサー等によるステージイベントを中心に多くの集客があり、東北全体にとって効果的なプロモーションの機会となった。



航空会社訪問



BtoB 商談会



日本東北遊楽日会場

② タイ市場に向けた取組

・タイから東北への国際定期路線再開に向けたプロモーション事業
（インフルエンサー招請4月17日～21日）

ソクラーン休みの時期に満開となる東北の桜をテーマに、タイ現地からインフルエンサー3名を招請し、山形県・宮城県・秋田県の取材を実施。訪日旅行の需要が高まるタイに向けて各インフルエンサーのSNSを通じた情報発信を行い、東北の知名度向上を図った。



長井市 古代の丘



食事の様子



秋田犬のふれあい体験

・タイにおける東北プロモーション事業（4月30日～5月2日）

タイ・バンコクにおいて一般消費者向け東北PRイベント「日本東北観光フェア」と現地旅行会社向け東北観光セミナー・商談会・交流会を実施。タイにおける東北の知名度向上と訪東北旅行商品の増加を目的としてプロモーションを展開した。また、期間中に東北一体で現地関係機関への訪問を行い、仙台＝バンコク定期路線の再開やタイと東北の相互交流促進に向けた働きかけを行った。



ブースの様子



東北プレゼンテーション



タイ国際航空訪問

・タイ国政府観光庁（TAT）東北絆まつりへの招待に係る視察（6月17日～18日）

TAT を東北絆まつりへ招待し、祭りを中心とした東北の魅力について PR を行うとともに、意見交換会（17日青森県観光国際交流機構 専務理事、18日仙台市長及び宮城県副知事）や松島（ホテル松島大観荘・円通院）と仙台城址の視察を行った。



絆まつりパレード視察



青森市での意見交換会



仙台城址視察

・タイから東北への国際定期路線再開に向けたプロモーション事業（10月20日～24日）

東北の紅葉をテーマに、タイ現地から旅行会社4社を招請し、タイで需要の高いルートの一つである栃木・南東北での視察を実施した。視察では、山形蔵王で美しい状態の紅葉を見た他、みちのく杜の湖畔公園ではコキアが見ごろであるなど、東北の旅行商品の造成に向け東北の秋の魅力を効果的に紹介することができた。



鶴ヶ城



上山観光フルーツ園



みちのく湖畔公園

・タイでの仙台・東北プロモーション（11月1日～5日）

仙台市のバンコクにおけるトップセールスに合わせ、東観推・山形市及びその関係者からなる訪問団がBtoBセミナー・商談会でのプロモーションや関係機関への表敬訪問、タイ国際航空へのセールスを実施した。BtoBセミナーでは、東北の観光プレゼンテーションを実施し、参加したタイ現地旅行会社約50名に対して東北の魅力をPRした。



東北の観光プレゼンテーション



タイ国際航空訪問



タイ旅行代理店協会訪問

・タイ TITF 出展等タイプロモーション（1月22日～29日）

東北の知名度向上と訪東北旅行商品の増を目的に、タイ国際旅行フェア（TITF#29）出展を行うとともに、旅行会社へのセールスや商談会参加を行った。TITF では、東北として日本ゾーンで最大規模となるブースを展開し、FIT 層を中心に直接東北の情報を PR し、東北への誘客に向けた効果的な PR を行うことができた。



BtoB 商談会



TIAA 幹部訪問



TITF ブースの様子

・タイから東北への国際定期路線再開に向けたプロモーション事業（2月4日～8日）

タイ現地から旅行会社4社を招請し、タイで人気の高い樹氷等のスノーコンテンツをテーマに秋田県・宮城県・山形県での視察を実施した。視察では特に樹氷等の写真映えるスポットや抹茶体験・舞子の踊りといった日本らしさが感じられる体験の評価が高く、通常のツアーのみならずインセンティブツアーの造成も検討したいとの声上がるなど、旅行商品の造成に繋げることができた。



森吉山阿仁スキー場



抹茶体験の様子



銀山温泉

③ 東南アジア市場に向けた取組

・東南アジアにおける訪日関心層誘客促進事業（インフルエンサー招請4月7日～11日）

シンガポール・インドネシア市場のメディア・インフルエンサーを招請して春季の東北を取材した。個人旅行が主流である両国の一般消費者をターゲットに、SNS 等で桜を中心とした東北の魅力を発信し東北の知名度向上と来訪意欲の増進を図った。



船岡城址公園



榴岡公園



日中線したれ桜並木

・Travel Madness Expo (TME) 2023（マニラ BtoC 旅行博 6月30日～7月2日）へのパンフレット送付

マニラで開催される BtoC 旅行博「Travel Madness Expo (TME) 2023」において、JNTO マニラ事務所出展のブース内にて東観推宣材物（富裕層向けパンフレット（英語版）・TOHOKUFanClub 募集パンフレット各1,000部）を設置しPRを行った。

・東南アジアにおける訪日関心層誘客促進事業（MATTA Fair 出展9月1日～3日）

マレーシアの旅行博覧会（MATTA Fair Kuala Lumpur）へ仙台市と共同ブースを出展し、ブースにおいて一般消費者向けに東北のPRを行い、知名度の向上を図った。また、会期中には会場に出展してい

るマレーシア現地の旅行会社を訪問し、東北の紹介を行うなど今後の旅行商品の造成を促進した。



ブースの様子



現地旅行会社への訪問



ミニステージでのPR

・東南アジアにおける訪日関心層誘客促進事業（10月30日～11月3日）

マレーシア・インドネシア市場におけるムスリム層への発信力を持つインフルエンサーをマレーシアから1名、インドネシアから2名を招請し、東北の紅葉やムスリムフレンドリーの飲食店の紹介をテーマに、岩手県・宮城県・福島県を視察した。特に狛鼻溪や鳴子峡では紅葉が見頃を迎えており、東北の秋の魅力を効果的に発信することができた。



大内宿



狛鼻溪



ハラール対応の焼肉の実食

④ 香港市場に向けた取組

・香港における東北プロモーション事業（インフルエンサー招請4月17日～21日）

香港市場はリピーターや個人旅行者の割合が多いことから、リピーター層やFIT層に強い影響力を持つインフルエンサーを香港現地から2名招請した。桜の訴求を主なテーマとして春季の東北を視察し、情報発信してもらうことで東北の知名度向上を図った。



桜木内川の桜



弘前公園



わんこそば

・香港ブックフェアでの東北PR（7月19日～25日）

集客が多く見込まれる香港で開催される「香港ブックフェア」において、在香港日本国総領事館ブースを活用して、東北の被災地の復興状況や食文化、観光、民芸品などを紹介し、東北への訪日観光客の増大を図った。



在香港日本国総領事館ブース



ブースの様子



・香港における東北プロモーション事業（12月19日～23日）

香港現地から旅行会社2社2名を招請し、東北の食事・温泉・文化体験をテーマに秋田県・岩手県・宮城県・山形県を視察した。視察では、なまはげ太鼓演奏や銀山温泉など、東北ならではの食事・温泉・文化の魅力を紹介することで、東北の旅行商品の造成に向けた働きかけを行った。



ビュッフェの食事



男鹿なまはげ太鼓鑑賞



銀山温泉

⑤ 欧米豪市場に向けた取組

・欧米市場における訪日関心層をターゲットにした東北への誘客促進事業
（インフルエンサー招請5月23日～28日）

在日のインフルエンサー1名を招請し、訪日関心層向け「新たな destinations」をテーマに、福島県・山形県・宮城県・青森県の観光コンテンツを視察した。



赤ペコ作り体験



WATALISでの体験



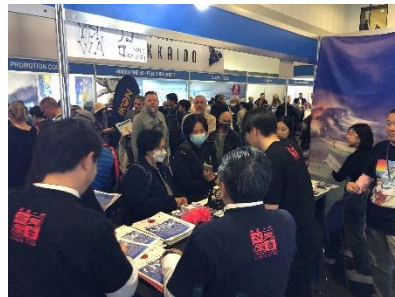
みちのく潮風トレイル

・豪州における「スノーリゾート東北」プロモーション事業 SNOW EXPO SYDNEY 出展（5月28日）

豪州市場に対して東北のスノーリゾートに関する情報のほか、アフタースキーや交通アクセスなどの付加価値の高い情報発信をスキー愛好者に向けて行うことで、東北地域の認知度の向上及び誘客促進を図るため、安比高原・八幡平及び山形市・山形蔵王と共同ブースを出展し、ブースにおいて旅行会社及び一般消費者向けに東北のプロモーションやTOHOKU Fan Clubの登録促進を行った。



ブースの様子



蔵王エリア



安比高原エリア

・欧米市場における訪日関心層をターゲットにした東北への誘客促進事業
（旅行会社招請8月2日～8日）

FIT層向け旅行商品・テーマ旅行を扱う旅行会社を対象とした招請により、東北7県の知名度向上・誘客促進を図ることを目的とし、東京等からの利便性を発信することに加え「北海道+東北」という新たな旅行目的地としての認知・関心上特化型プロモーションを実施した。



うちわ作り体験（五所川原立佞武多の館）



秋田竿燈まつり視察



ミニ畳作り

・欧米市場における訪日関心層をターゲットにした東北への誘客促進事業（10月24日～30日）

欧米現地（アメリカ）よりメディア1社1名を招請し、訪日関心層向け「新たなディスティネーション」をテーマに、青森県・秋田県・山形県・宮城県・仙台市・福島県の観光コンテンツを視察した。古くから伝承されている文化や守り続けている日々の営みについて取材をできた箇所は好評だった。それぞれの視察先が想像以上の感動と驚きの連続だったようで東北の魅力を発信する機会となった。



津軽三味線体験



こけしの絵付け体験



お鷹ぼっぼの絵付け体験

・豪州における「スノーリゾート東北」プロモーション事業（1月24日～27日）

豪州メディア関係者1社1名を招請し、東北のスノースポーツを中心に食事、温泉、体験をテーマに山形県・宮城県・秋田県を視察した。スノースポーツについては、天候に左右された部分があったものの全体としては雪質・設備ともに大変好評であった。



やまがた酒のミュージアム



白石城甲冑体験



たざわ湖スキー場

・LOS ANGELES TRAVEL & ADVENTURE SHOW (LATAS) 出展（2月3日～4日）

アメリカロサンゼルスでの旅行博覧会（LOS ANGELES TRAVEL & ADVENTURE SHOW）のJTBUSA共同ブースへ出展し、ブースにおいて一般消費者向けに東北のPRを行う他、TOHOKU Fan Clubの入会促進活動を行った。



ブース全景



東北ブース



東北のPR活動

⑥ 中国市場に向けた取組

・中国における東北への誘客促進事業

(旅行会社招請9月5日～8日)

中国現地から旅行会社2社2名を招請し、仏教・アドベンチャーツーリズムを主なテーマに、宮城県・秋田県・山形県を視察した。事業者8社との商談会も実施した。



事業者との商談会



羽黒山



なまはげ伝承館

(インフルエンサー招請9月11日～15日)

在日のインフルエンサー2名を招請し、「アニメ・有名人・ロケ地・聖地巡礼」、「日本食（地域ならでは）」をテーマに、新潟県・山形県・秋田県・宮城県の観光コンテンツを視察した。



銀山温泉



森子大物忌神社



秋保神社

(現地インフルエンサー招請11月10日～13日)

中国現地からインフルエンサー1名を招請し、「癒しの桃源郷・仏系体験」、「アドベンチャーツーリズム」をテーマに、宮城県・秋田県・山形県の観光コンテンツを視察した。東鳴子温泉の紅葉を見ながらの貸切露天風呂入浴は特に好評であった。また、バリエーション豊かに視察をした食事の評価はいずれも高かった。東北に対して、景色が綺麗、食べ物・お酒がとても美味しい場所との好印象を与えることができた。



東鳴子温泉



角館武家屋敷



山寺

・中国における「スノーリゾート東北」プロモーション事業(現地旅行会社招請)

(北東北コース1月29日～2月1日、南東北コース2月1日～5日)

中国現地から東北へのスキー商品を過去に多数催行している旅行会社2社3名及びスキークラブ2社2名を招請し、東北の冬のプロモーションをテーマに青森県・秋田県・宮城県・山形県・福島県のスキー場を中心に視察した。計9か所のスキー場を視察したがどのスキー場もコースが豊富でゲレンデも広いという事で好評だった。



たざわ湖スキー場視察



樹氷のライトアップ鑑賞



河京ラーメン館での昼食

⑦ 韓国市場に向けた取組

・韓国市場における訪日関心層に向けた新たなSITプロモーション事業（10月20日～24日）

韓国現地の旅行会社2社2名を招請し、「アウトドア・アクティビティ+食事・文化体験」をテーマに、秋田県・宮城県・山形県を視察した。視察では、宮城オルレやみちのく潮風トレイルを紹介することで、東北がアクティビティの舞台として強い魅力を持つことを紹介した。また、鳴子温泉峡や乳頭温泉郷など、食事と文化体験も併せて楽しめる点を強く訴求し、各社に旅行商品造成を働きかけた。



宮城オルレ 大崎・鳴子温泉コース



乳頭温泉郷



名取トレイルセンター

・韓国現地旅行会社セールス（1月16日～18日）

訪東北旅行商品の造成促進を目的として、宮城県・秋田県・山形県と共に韓国現地の旅行会社5社を往訪した。アクティビティが本格化する春・夏の商品を造成中である各社に対し、村田コースが新たに開設された宮城オルレ村田コースをはじめ、東北のトレッキング、アクティビティの情報をタイムリーに提供することができた。また、連携自治体とまとまってセールスしたことで、より効果的に商品造成を働きかけることができた。



セールスの様子



・韓国市場における訪日関心層に向けた新たなSITプロモーション事業（2月3日～7日）

韓国市場に対し強い発信力を持つインフルエンサーを韓国現地から2名招請し、秋田県・山形県・宮城県のアウトドアや、伝統文化などのコンテンツを中心に視察した。宮城オルレや田沢湖でのスノートレッキングといったアクティビティに加え、最上川舟下りや古澤酒造見学などの伝統文化体験はいずれも好評であり、東北のアクティビティや文化の魅力を効果的に発信することができた。



スノーシュー体験



古澤酒造見学



宮城オレ村田コース

(3) アドベンチャートラベル・ワールドサミット (ATWS) 2023

① プレサミットアドベンチャー (PSA) (9月3日～9日)

本大会前に開催されたプレサミットアドベンチャー (PSA) では、東北エリアで「みちのく潮風トレイル」が公認コースとして採択され、岩手県にある株式会社みちのりトラベル東北が主催会社として PSA を運営した。PSA は7日間に渡り実施され9名の方が参加。

PSA 参加者からは、非常に素晴らしいコースだったと好評で、その中でも浄土ヶ浜や種差海岸の風景はすべての方々に見てもらいたいというなお言葉もいただいた。



視察の様子 (震災遺構荒浜小学校)



視察の様子 (塩釜市)



東北 PSA 参加者

② ATWS 本大会 (9月12日～14日)

本大会には64か国・地域から約750人が参加し、3日間にわたって札幌市内にて開催された。東観推として JNTO のジャパンラウンジの東北ブース運営を中心に参加し、多くの参加者に東北の PR を実施した。

Welcome セレモニーでは、JNTO 蒲生理事長のご挨拶の中で、PSA コースの中で唯一東北のコースを紹介していただき、また、駐日ヨルダン大使のリーナ・アンナーブ氏からもみちのく潮風トレイルの紹介があり、非常にインパクトがあった。



会場の様子



東北ブース (ジャパンラウンジ)



JNTO 蒲生理事長スピーチ

(4) 多言語電話通訳サービスの提供

① 新規登録 (累計 3,787 施設)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0件	0件	12件	0件	0件	0件	0件	1件	0件	1件	5件	1件	20件

② 利用実績 (昨年度累計 27 件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
6件	4件	2件	3件	1件	2件	1件	1件	0件	5件	3件	1件	29件

(5) 高速バス東北共通インバウンドフリーパス(バスパス)

① 2023 年度販売実績 合計…139 枚 内引換確認済 133 枚、キャンセル6 枚 (昨年販売実績 21 枚)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
8枚	7枚	2枚	17枚	6枚	5枚	10枚	11枚	5枚	25枚	22枚	15枚	133枚

② 総会の開催 (3月25日)

2023 年度の中間報告とあわせて、2024 年度に令和 5 年度観光庁補正予算「地域観光新発見事業」を活用しデジタル化をすることについて審議され、全会一致で承認となった。

- ・参加者：宮城交通、弘南バス、十和田観光電鉄、羽後交通、秋北バス、秋田中央交通、岩手県交通、岩手県北自動車、ミヤコーバス、東日本急行、山交バス、庄内交通、福島交通、新常磐交通、会津乗合自動車、東北アクセス、ジェイアールバス東北、東北六県バス協会連合会、東北運輸局



総会の様子

③ 幹事会 (オンライン) の開催 (3月29日)

令和 5 年度観光庁補正予算「地域観光新発見事業」申請に関わるデジタル化の連携先を選定した。

- ・参加者：宮城交通、弘南バス、羽後交通、岩手県交通、山交バス、福島交通、ジェイアールバス東北、東北六県バス協会連合会

Ⅲ. 「東北まなび旅」ブランド化の推進

1. 教育旅行セミナー・商談会・研修会の開催

(1) 東北教育旅行セミナー (7月5日札幌)

第 1 部のセミナーでは、東観推より東北が「自然・環境学習」「歴史・文化体験」「農山漁村体験」といった探究学習に加え「震災・防災・減災」学習のためのコンテンツも揃っていることをプレゼンし、教育旅行の舞台として、東北が有力な地域である旨の PR を行った。

第 2 部の旅行会社商談会・学校相談会については、昨年度と同程度の賑わいをみせた。特に商談会では、受入事業者が密に連携したセールスを展開しており、地元コンテンツの魅力について積極的に PR を行っていた。また、学校相談会では、北東北 3 県への関心が高い学校関係者が多く、3 県を中心として、熱心に情報収集をする学校関係者が多く目に留まった。



第 1 部 (プレゼンテーション) の様子



第 2 部 (旅行会社商談会) の様子



第 2 部 (学校相談会) の様子

(2) 東北教育旅行セミナー（7月20日東京）

第1部のセミナーについては、札幌会場と同様の形でプレゼンテーションを行い、東北教育旅行の魅力等についてPRを行った。

第2部の旅行会社商談会については、昨年度と同程度の賑わいをみせた。参加者（旅行会社）のアンケートを確認したところ好意的な反応が多く、中でも「首都圏の学校はほとんどが西日本方面。東北への教育旅行は馴染みがなかったが、今回まとまった情報を得ることができたのでイメージが湧いた。今後、自信を持って学校へ勧めていきたい。」といった声や、「東北のコンテンツは『震災・防災・減災』のイメージが強かったが、それ以外の農泊・自然体験など別分野の話が聞けて良かった。特に、農山・漁村体験について興味があるので、自分でも調べてみたい。」といった声が寄せられるなど、セミナーの効果を感じられる感想が目立っていた。



第1部（プレゼンテーション）の様子



第2部（旅行会社商談会）の様子



第2部（旅行会社商談会）の様子

(3) 東北教育旅行オンラインセミナー（7月28日）

東北教育旅行の魅力を広くPRするため、標記セミナーを開催し、北海道・首都圏という二大商圏からの修学旅行実績がある2校から講話をいただいた他、震災学習・探究学習として先進的な取り組みをしている東北側の二者からお話をいただいた。



札幌市立手稲中学校からの講話



練馬区立開進第二中学校からの講話

(4) 東北教育旅行セミナー（8月23日大阪）

第1部のセミナーについては、前回と同様の形でプレゼンテーションを行い、東北教育旅行の魅力等についてPRを行った。

第2部の旅行会社商談会については、昨年度から東北側の参加者数が49名（昨年度27名）に増加しており、昨年度と比較して大変盛況であった。参加者（旅行会社）のアンケートを確認したところ「探究型学習に適した東北教育旅行は、新しい学習指導要領の方針と一致しており、学びを指向する学校への訴求力を感じたので、今後機会があれば提案をしていきたい。」といった声や、「『震災・防災・減災学習』は国内で唯一だと思うし、豊富な自然を活かした体験コンテンツの内容も非常に魅力だと感じた」といった声が寄せられるなど、好意的な感想が目立っていた。



第1部（プレゼンテーション）の様子



第2部（旅行会社商談会）の様子



(5) 東北教育旅行セミナー（8月30日名古屋）

第1部のセミナーについては、前回と同様の形でプレゼンテーションを行い、東北教育旅行の魅力等についてPRを行った。

第2部旅行会社商談会については、昨年度から東北側の参加者数が31名（昨年度20名）に増しており、昨年度と比較して盛況であった。参加者（旅行会社）のアンケートを確認したところ「東北まなび旅HPにモデルコースが豊富に掲載されているのはありがたいし、パワーポイントでダウンロードできる機能は非常に便利」といった声や、「各県の地理や特徴など曖昧であったが、各県からのプレゼンがあったので頭の中が整理できた」といった声が寄せられるなど、好意的な感想が目立っていた。



第1部（プレゼンテーション）の様子



第2部（旅行会社商談会）の様子



(6) 東北教育旅行セミナー（9月11日福岡）

第1部のセミナーについては、前回と同様の形でプレゼンテーションを行い、東北教育旅行の魅力等についてPRを行った。

第2部の旅行会社商談会・学校相談会については、昨年度と同程度の賑わいをみせた。参加した旅行会社の担当者からは、「東北の探求学習コンテンツは豊富であるうえ、魅力的であることが理解できた。」「東北全体で一枚岩となって誘致に取り組んでおり、連携面でのメリットを感じた。」との声をいただくなど好評であった。



第1部（プレゼンテーション）の様子



第2部（旅行会社商談会）の様子

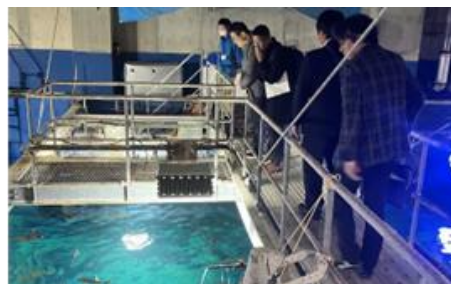


(7) 東北教育旅行現地研修会（学校関係者招請事業）（10月21日～22日）

日本修学旅行協会の監修・協力のもと、東北地区への教育旅行誘致を目的とした学校関係者向けの東北教育旅行現地研修会を、秋田県にて実施した。なまはげ館・男鹿水族館 GAO・あきた芸術村等といった秋田でしか体験できないコンテンツを視察するとともに、秋田市内の宿泊先では「教育旅行セミナー」を開催した。セミナーでは、秋田だからこそ学べる探求学習について、受入側事業者様等から提案いただき、「東北教育旅行」の魅力についてPRを行った。参加された先生方からは具体的な質問や意見をいただき、「東北教育旅行」について高い評価をいただいた。



教育旅行セミナーの様子



男鹿水族館GAOの視察

(8) 東北教育旅行現地研修会（旅行会社向け）（12月6日～8日山形・福島方面）

東北への教育旅行誘致を目的とした東北教育旅行現地研修会を山形県・福島県にて実施した。旅行会社を対象とした3日間の研修会として企画し、1日目「スキー修旅」、2日目「歴史・文化学習」、3日目「震災・防災・減災学習」といったテーマ別にコンテンツを視察してもらった。東北ならではの深い学びについて知見を広げていただくとともに、各県で開催した商談会では、山形・福島だからこそ学べる探求学習等について、受入側の事業者から提案をいただくなど、「東北教育旅行」の魅力を効果的にPRができた。



視察及び各県商談会の様子

(9) 台湾訪日教育旅行誘致事業（12月6日～11日）

日本東北遊楽日の開催に先立ち、台湾の学校からの東北への国際教育旅行の誘致を目指して（公財）3.11 伝承ロード推進機構と連携して台中・台北の学校への訪問を実施した。台中市は震災の経験があることから、「東北での震災学習について意義深い」とのお声をいただいた。



学校訪問の様子①

学校訪問の様子②

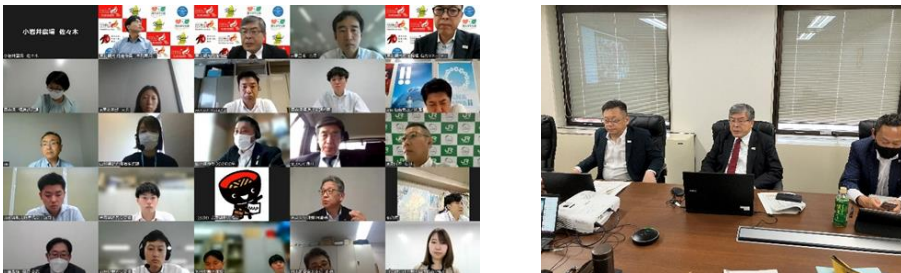
BtoB セミナー・商談

2. 教育旅行誘致部会及び教育旅行担当者会議の開催

(1) 第1回東北教育旅行誘致部会及び教育旅行担当者会議（6月16日）

2023年度より教育旅行誘致部会と担当者会議を同日開催とし、第一部として誘致部会を行い、誘致部会の後、県担当者及び観光協会・連盟により担当者会議を行った。

東観推や各県の本年度の誘致計画、教育旅行マーケットの動向、東北まなび旅のアクセス分析からの考察は誘致部会メンバーで共有し、誘致部会後の担当者会議では、教育旅行コンテンツの整理（農泊リストや教育旅行受入れスキー場リストの整備）、助成金戦略について議論を行った。



会議の様子

(2) 第2回東北教育旅行誘致部会 (3月1日)

全国5都市で実施した東北教育旅行セミナーや学校関係者、旅行会社を招いた招請事業など、東観推が行った2023年度教育旅行事業の報告に加え、教育旅行誘致部会で実施した入込調査に基づくマーケット分析の共有などを行った。

3. 東北復興ツーリズム推進ネットワークとの連携

(1) 東北復興ツーリズム推進ネットワークとの連携 (7月25日)

東北への観光誘客に取り組む官民83団体が参画し、「東北復興ツーリズム推進ネットワーク」が7月25日に発足した。東観推では、これまでも「五感で学ぶ、いのちに学ぶ『東北まなび旅』」として、東北への教育旅行誘致を促進しているが、東北復興ツーリズム推進ネットワークとも連携し、誘致活動をさらに深度化させる。

東観推が全国主要都市で実施した東北教育旅行セミナー(7月5日～9月11日)においても、東北復興ツーリズム推進ネットワークの取り組みについてプレゼンを行った。



教育旅行セミナーの様子

(2) JR東日本主催「東北復興ツーリズム・教育旅行説明会」でのプレゼン(旅行会社向け) (11月15日)

東北への観光誘客に取り組む官民83団体が参画して今年7月に東北復興ツーリズム推進ネットワークが発足したが、参画旅行会社を対象とした教育旅行説明会がJR東日本本社にて行われた。JR東日本より学校団体に向けた新たな施策の発表があった他、東観推からは、東北教育旅行の強みや、震災後12年を経た今だからこそ提案できる防災学習のポイントをプレゼンした。



会議の様子

(3) 復興ツーリズム現地研修会(旅行会社対象) (1回目:1月30日～31日、2回目:2月6日～7日)

旅行会社36名を対象として、東日本大震災から復興の道を歩み続けている東北の姿を視察する現地研修会を2回に分けて実施した。震災伝承施設・震災遺構を通して学ぶことは、ここ東北でしかできない貴重な教育旅行コンテンツだと再認識をしていただけた他、参加者からは、東北での教育旅行は魅力的であり、学校に自信を持って提案できるという言葉もあった。



視察及び交流会(商談会)の様子

4. 情報発信の強化

(1) 教育旅行HP「東北まなび旅」について

東北・新潟の教育旅行情報を集約し、旅行会社や学校関係者に向けてモデルコースやコンテンツ、コロナ対策や支援施策・助成金などの情報発信を行った。

・2023年度の状況（3月末時点）

ホームページのPV数 174,330PV（2022年度168,344PV 年度対比103.6%）

ホームページのUU数 86,923UU（2022年度76,325UU 年度対比113.9%）

5. 関係団体との連携等による展開

(1) 陸前高田教育旅行誘致部会出席（4月4日）

東観推の取組、近年の教育旅行の動向について情報提供を行った。

(2) 愛知県愛西市長の宮城県来訪（4月13日）

愛西市の公立中学が修学旅行で訪れる箇所の視察に宮城県を来訪中の愛西市（愛知県）日永市長に東観推の取組みの説明を行った。

(3) 岩手県教育旅行誘致宣伝部会総会及びセミナー参加（4月17日）

岩手県教育旅行誘致宣伝部会との連携強化と東観推における令和5年度の東北教育旅行活動の周知及び協力依頼を行った。

(4) 青森県教育旅行誘致促進連絡会議出席（5月30日）

同会議構成員との連携強化と7月から開始する「東北教育旅行セミナー」をはじめとした教育旅行业計画の周知及び協力依頼を行った。



会議の様子

(5) 新潟県観光ファンづくり推進協議会出席（6月15日）

新潟県観光文化スポーツ部からのご依頼による講演、新潟県観光ファンづくり推進協議会との連携強化、県が取り組む観光認知拡大に向けた事業や教育旅行誘致推進事業の情報収集を行った。

(6) あきた広域観光誘客推進協議会出席（6月21日）

同協議会構成員との連携強化と、「東北教育旅行セミナー」をはじめとした東観推教育旅行业の周知及び協力依頼を行った。

(7) 宮城県教育旅行受入関係機関情報交換会参加（9月5日）

出席している各受け入れ事業者から宮城県での教育旅行の受け入れについて報告があった。結果として、（公財）日本修学旅行協会主催のシンポジウムなどでも話題に出た「旅行会社からの人材流出」について受入側でも感じていることが伺えた。

各都道府県教育委員会が定める修学旅行の上限単価は現在の物価高に追いついていないことから、今後旅行会社が敬遠しかねない状況が起りえることが示唆された。

(8) 福島県教育旅行推進委員会出席（3月22日）

福島県観光物産交流協会が実施した標記の会議に出席し、福島県の教育旅行受入関係者と情報交換などを行った。東観推からは2023年度に福島県で実施した教育旅行业の報告に加え、2024年度に行う教育旅行セミナーの予定や本年度注力する台湾マーケットの取り組みについて共有した。

6. その他、教育旅行誘致活動

(1) 首都圏教育旅行セールス（教育旅行関係団体・主要旅行会社）（5月19日）

2023年度「東北教育旅行セミナー」の実施に先立ち、関連組織・旅行会社を訪問し、セミナー・商談会に係る概要の説明や協力依頼を行った。

(2) 全国修学旅行研究協会主催 第40回全国修学旅行研究大会参加 (7月25日)

大会会場に東観推ブースを設置してPR資料(東北まなび旅、TOHOKU Fan Club、プレゼン資料など)を配布、東北教育旅行をPRした。

基調報告では、2019年度までは修学旅行施行先についてはほぼ固定化されており、近畿が過半数近くを占めていたが、コロナ感染症が広がった2020年度には中止が相次ぎ、2021年度にはシェアが分散した様子が見て取れる旨発表があった。※東北のシェア 2.6%(2019年)→9.9%(2021年)

方面については、新型コロナウイルスの収束に伴って元の方面への回帰現象が起こってきているとのこと。併せて、今後の課題としてコロナ禍による旅行・観光分野からの人材流出について挙げられた。

(3) 日本修学旅行協会主催 第17回教育旅行シンポジウム参加 (8月18日)

出展スペースでは、シンポジウムに参加する旅行会社・学校関係者などに対して東北教育旅行のPR資料を配布するとともに、適宜、名刺交換をするなどして東北教育旅行のPRにつなげた。

基調報告では、竹内理事長より全国的な最新の教育旅行の傾向や課題、これからの教育旅行のあり方等について、全国的な視点で捉えた説明があった。特に、コロナ禍を経て従来固定化されていた方面について、各校で見直しの動きが出てきたことに加え、昨今の物価高による旅行費用の掛かり増しは大きな問題となっており、費用面と折り合いをつけながら、どのようにして探求学習の中身を充実化させ、満足度の高い教育旅行を実現させるかが、これからの教育旅行の大きな課題であるとの認識を示していた。



シンポジウムの様子

(4) 東北修学旅行現地研修会(学校関係者招請事業) (8月20日~22日)

全国修学旅行研究協会の監修・協力のもと、宮城県と福島県の教育旅行についての研修会を2泊3日の行程で実施した。

宮城県では松島にて瑞巖寺や円通院、五大堂を専門ガイドの詳しい説明のもとに見学した。遊覧船では船内にて震災語り部の講話をお聞きいただいた。多くの先生方が年配の語り部のお話に感銘を受けておられた。また、仙台城址や瑞巖寺も学芸員の詳細な説明とともに見学した。

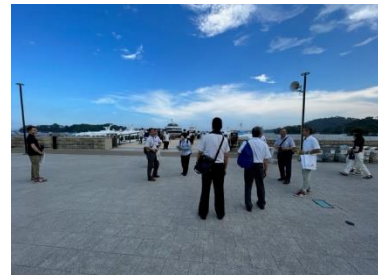
福島県では震災遺構請戸小学校を浪江町職員の方に説明いただき視察した。原子力災害伝承館、アクアマリン福島も施設の方の詳細な説明のもとに見学。宮城県、福島県それぞれで教育旅行セミナーを行い、県及び教育旅行を受け入れている事業者から情報提供を行ったほか、先生方との意見交換を行った。



教育旅行セミナーの様子



震災遺構請戸小学校視察の様子



松島視察の様子

(5) 台湾教育旅行現地招請事業 (9月24日~27日)

台湾から東北への教育旅行を促すことを目的として、3.11 伝承ロード推進機構と連携し、4校より4名、台北市政府教育局の1名を台湾現地から招請し、岩手県・宮城県の震災遺構や伝承施設の視察及び学校訪問(学校交流)を実施した。



松島高校との記念撮影



南三陸病院記念碑



花巻温泉お出迎え

IV. 海外・国内共通の誘客促進と持続可能な観光地域づくり

1. 東北の新しい旅行スタイルの創出



(1) 東北の新しい旅行スタイルの創出プロジェクト「Base!TOHOKU」

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		上期合計	
	人泊数	前年比	人泊数	前年比	人泊数	前年比	人泊数	前年比	人泊数	前年比	人泊数	前年比	人泊数	前年比
浅 虫	99	990%	50	1250%	74	352%	53	※	65	310%	55	458%	396	582%
十和田奥入瀬	40	-	158	-	220	-	188	-	26	-	208	-	840	-
花 巻	55	1375%	71	※	58	※	38	※	126	233%	154	428%	502	534%
つ な ぎ	99	354%	286	144%	478	204%	99	83%	275	259%	831	540%	2,068	246%
八 幡 平	16	-	79	-	92	-	133	-	235	-	158	298%	713	1064%
秋保・作並	88	1467%	140	737%	72	189%	122	938%	240	649%	212	1010%	874	652%
松 島	66	-	170	-	83	-	184	-	164	-	262	-	929	-
田沢湖・乳頭	51	204%	163	※	32	51%	141	266%	158	2633%	488	2218%	1,033	571%
男 鹿	6	-	14	-	8	-	26	-	46	-	6	-	106	-
天 童	47	181%	139	993%	34	52%	92	1533%	72	267%	66	220%	450	268%
蔵 王	30	-	126	-	138	-	218	-	389	-	573	-	1,474	-
飯坂・土湯・高湯	56	133%	50	625%	61	244%	92	214%	98	169%	94	184%	451	199%
東山・芦ノ牧	55	-	42	-	4	-	22	-	62	-	135	-	320	-
月 岡	0	-	0	-	0	-	8	-	2	-	2	-	12	-
岩 室	0	0%	0	0%	0	※	0	※	10	※	2	※	12	-
津 軽	6	-	36	-	15	-	7	-	32	-	18	-	114	-
いわき湯本温泉郷	36	-	66	-	62	-	271	-	506	-	224	-	1,165	-
小 計	750	517%	1,590	624%	1,431	321%	1,694	721%	2,506	748%	3,488	920%	11,459	638%

	10月		11月		12月		1月		2月		3月		下期合計		年度合計	
	人泊数	前年比	人泊数	前年比	人泊数	前年比	人泊数	前年比	人泊数	前年比	人泊数	前年比	人泊数	前年比	人泊数	前年比
浅 虫	22	73%	96	97%	63	46%	35	175%	42	88%	20	10%	278	53%	674	113%
十和田奥入瀬	125	-	254	6350%	94	※	144	※	308	※	124	477%	1,049	3497%	1,889	6297%
花 巻	102	2550%	229	674%	121	※	134	558%	156	269%	231	350%	973	482%	1,475	498%
つ な ぎ	194	485%	713	373%	162	※	211	224%	179	121%	151	77%	1,610	219%	3,678	234%
八 幡 平	18	82%	14	74%	174	※	265	331%	745	573%	274	330%	1,490	433%	2,203	536%
秋保・作並	224	1600%	280	609%	248	※	212	307%	164	256%	178	113%	1,306	302%	2,180	385%
松 島	206	-	212	-	233	1456%	212	393%	204	378%	243	304%	1,310	642%	2,239	1098%
田沢湖・乳頭	99	155%	128	104%	112	207%	164	683%	340	447%	124	135%	967	223%	2,000	326%
男 鹿	10	※	8	※	16	※	16	※	26	325%	8	50%	84	175%	190	396%
天 童	447	5588%	337	288%	70	84%	110	306%	196	1400%	96	104%	1,256	359%	1,706	329%
蔵 王	619	-	890	8091%	1,055	2293%	1,833	9647%	1,562	2367%	1,151	599%	7,110	2129%	8,584	2570%
飯坂・土湯・高湯	36	88%	69	209%	124	157%	47	247%	36	39%	21	17%	333	85%	784	127%
東山・芦ノ牧	195	-	218	727%	138	314%	114	※	68	1700%	124	517%	857	840%	1,177	1154%
月 岡	4	-	0	-	8	-	8	-	0	-	0	-	20	-	32	-
岩 室	10	※	0	※	0	※	0	※	0	※	0	※	10	※	22	138%
津 軽	24	-	26	-	195	-	434	-	589	-	153	-	1,421	-	1,535	-
いわき湯本温泉郷	58	-	82	-	84	-	20	-	76	-	90	-	410	-	1,575	-
小 計	2,393	969%	3,556	503%	2,897	459%	3,959	679%	4,691	629%	2,988	246%	20,484	496%	31,943	539%

・Base! TOHOKU 2023 予約実績 (地域別)

2023 年度新規エリアとして津軽地域及びいわき湯本温泉郷地域を加えた。モデル地域毎の参画施設数、旅行会社によるプラン設定数に違いはあるものの、年間の傾向としては以下の状況がうかがえる。

- ・人流が回復するにつれ、連泊数も大きく伸びている。(31,943 人泊)
- ・単月毎の地域内合計値としては、10 月よりも 9 月・11 月・2 月の連泊が多く、繁忙期以外でも連泊が多く見られる月がある。
- ・夏季は高原エリア地域で連泊数が多く、冬季はスキー場エリア地域で連泊が多い。

① Base! TOHOKU 事業参画旅行会社説明会 (6 月 16 日)

Base! TOHOKU 事業に参画している旅行会社 11 社に対して、3 年目としてインバウンドを視野に入れた今年度の取組について説明を行うとともに、各社の強みを生かした BT 商品の継続販売の依頼及びかけた。



参画旅行会社説明会の様子

② いわき湯本温泉事業説明・合意形成

(スパリゾートハワイアンズ 6 月 26 日、いわき湯本温泉旅館共同組合 6 月 28 日)

新規エリアであるいわき湯本温泉郷地域にて、BT 事業概要の説明を行った。

③ 津軽地域事業説明・合意形成 (7 月 4 日)

新規エリアである津軽地域について、中核となる DMO の Clan PEONY 津軽及び委託先の JTB と共に、弘前市旅館ホテル組合の組合長へ事業説明を行った。



いわき湯本温泉旅館共同組合訪問の様子

④ 旅行会社個別訪問 (7 月 28 日~8 月 4 日)

Base! TOHOKU 事業に参画し販売を行っている旅行会社 11 社各社へ訪問し、今年度の事業方針の共有や、実績集計方法の統一、各社の販売における課題感のヒアリング等を実施。国内の流動が活発になりつつある現状を捉え、着実に販売実績を伸ばすため、各社の得意とする販売方法に沿い連携を図った。

⑤ いわき湯本温泉郷地域キックオフ・検討会 (8 月 24 日)

新規エリアであるいわき湯本温泉郷地域にて、本事業における地域の打ち出し方を検討する会議(検討会)を実施。宿泊事業者やいわき観光まちづくりビューロー、いわき市観光振興課が参加し、地域の特色や域内のインバウンド動向などについて活発な意見が交わされた。

⑥ 蔵王地域検討会(9 月 21 日)

蔵王は BT2 年目参画地域であるが、昨年度の DMC 蔵王温泉ツーリズムコミッティ立ち上げによる担当窓口の変更や、JTB に委託業者が変更となったことを受け、改めて参画宿の拡大に向けた事業説明会を実施した。

⑦ Base! TOHOKU 2023 年度版パンフレットの作成

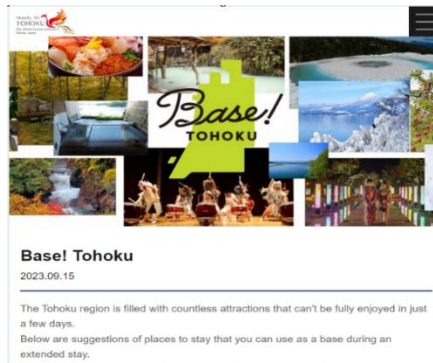
今年度 2 地域・2 事業者が新たに参画したことを踏まえリーフレットを改訂する。写真やレイアウトの他、各地域のコンテンツについても見直しを行った。10 月のツーリズムエキスポジャパンでは会場にて東北での連泊を訴求した。



Base! TOHOKU リーフレット英語版

⑧ Base! TOHOKU 特設 WEB ページ改修 (多言語化)

インバウンド訪日客に対し、連泊滞在、温泉の魅力を訴求するため、WEB ページの多言語翻訳化(英・繁・タイ)を行い、公開した。



Base ! TOHOKU 特設WEB ページ

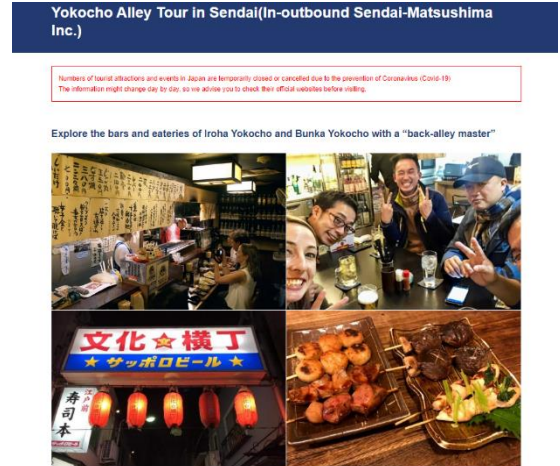
📖 Recommendations for onsen resorts to use as a base during an extended stay



2. プレミアムコンテンツ事業

(1) 観光資源（観光体験コンテンツ）のデータ化

掘り起こされた東北各地の観光資源からプレミアムコンテンツとして支援するコンテンツを選定し、旅東北サイト観光情報、プレミアムコンテンツとして情報登録を実施した。日本語の他、多言語翻訳（英・繁・韓・タイ）にて登録を行った。



旅東北サイト 観光資源データ化（多言語）

(2) 観光体験コンテンツWEB 販売体制導入説明会（WEB 開催）

オンラインで予約決済できる仕組みを導入していない事業者向けに海外 OTA 販路拡大の支援を行うため、アクティビティジャパン、JTB BOKUN、じゃらんによる導入説明会を9月より1月まで全5回オンライン形式にて実施した。コンテンツ事業者、観光協会、宿泊事業者が参加され、説明会後も海外 OTA への掲載手続きのフォローを行った。

(3) 第1回プレミアムコンテンツ発表商談会（7月13日）

東北域内のDMO・観光協会・自治体様より23件のプレミアム観光コンテンツを集約。

第1部発表会では、コンテンツ事業者・DMOよりプレミアムコンテンツの魅力や受入体制等について説明を行い、第2部商談会では、個別マッチングを行い、販売ルートの開拓やコンテンツ受入事業者への要望などの商談を実施した。



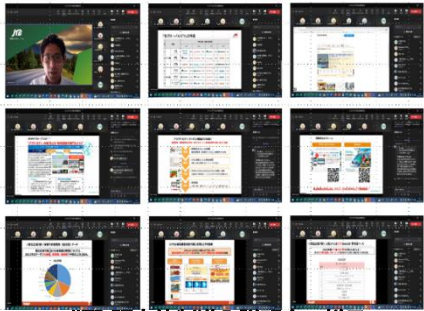
第1部 発表会



第2部 商談会

(4) 第2回プレミアムコンテンツ商談会 (1月18日)

東北・新潟各地の数あるコンテンツの中から、インバウンド向けに適している（内容・体制）と思われるコンテンツを旅東北ホームページ上に掲載し、今年度実施しているドライブルート事業や海外招請事業、旅行博といった他事業においても広く露出させ、インバウンド市場における東北コンテンツのプレゼンス向上を目指して商談会を実施した。旅行会社25社とコンテンツ事業者28事業者の総勢106名の参加があり、活発な商談が行われた。旅行会社側にはランドオペレーターやOTA（オンライントラベルエージェント）の参加も含まれた。旅行会社側の事後アンケートでは、「ぜひ販売したいプランがあった」と92%の方が回答しており、有意義な商談会となった。



WEB販売体制導入説明会の様子



コンテンツ商談会の様子

3. ドライブルート造成・販路形成事業

・周遊ドライブモデルルートの検討・造成

東北・新潟各県の新幹線駅・空港を発着起点とし、東北の訪れるべき観光スポットを中心に、テーマを設けた3日間のドライブモデルルートを7コース造成した。

・観光資源（観光コンテンツ）の掘起し

旅東北サイトに未掲載の観光素材・体験コンテンツの抽出を行い、旅東北サイトに掲載すべきコンテンツ、プレミアムコンテンツとして支援するコンテンツ、海外OTAで販路形成支援を行うコンテンツ等に分類した。

・観光体験コンテンツWEB販売体制導入説明会（9月26日WEB）

観光資源の掘起し・分類を行う中で、オンラインで予約決済できる仕組が未導入の事業者が見られたことから、9月26日を第1回とし、リクルート、アクティビティジャパン、JTB BOKUNの3社による説明会を実施した。17の事業者が参加され、希望により今後3社にて導入支援のフォローを行った。10月24日に、海外OTA販路拡大のための説明会を第2回として開催し、1月まで継続開催した。



プレミアムコンテンツ
WEBトップページ

・観光体験コンテンツ（プレミアムコンテンツ）特設WEBページの制作

10月1日の特設WEBページオープン（日本語）に合わせ、掘起し、選定済コンテンツのテーマを訴求する目的にてページデザインを制作した。

・関係事業者（各県毎）との検討会開催を計画・案内発信

地域の核となる事業者（DMO・観光協会・宿泊事業者・旅館温泉組合等）と専門家にて、観光体験コンテンツがより販売されるための必要項目、判断基準を認識するワークショップを行い、各県内の事例として検討を行った。

各県実施日：青森県（9/8）、岩手県（9/12）、秋田県（9/14）、福島県（9/15）、山形県（9/20）

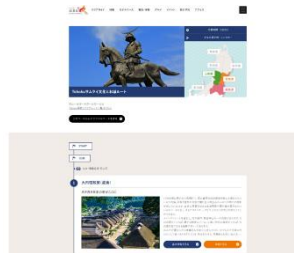
福島県（9/15）、新潟県（9/22）、宮城県（10/2）

・周遊ドライブモデルルート特設WEBページの制作

10月1日の特設WEBページオープン（日本語）に合わせ、各モデルコースのテーマを訴求する目的にてページデザインを制作した。



広域周遊ドライブルートWEB トップページ



ドライブルート各ページ

(1) 周遊ドライブモデルルート特設WEB ページの多言語化

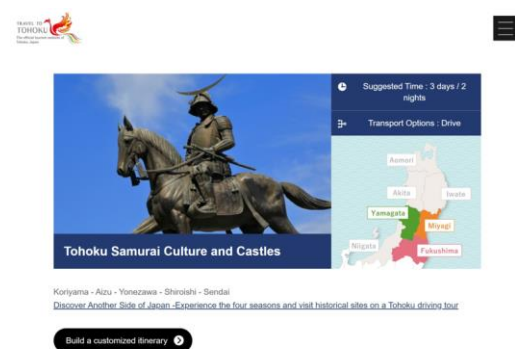
東北各地の新幹線駅・空港を起点とする効率的な周遊モデルルート 7 つを特集ページに多言語翻訳の上掲載した。

- ・ Tohoku サムライ文化とお城ルート
- ・ Tohoku 三陸海岸とマリンアドベンチャールート
- ・ Tohoku 街めぐりと癒しの秋田犬ルート
- ・ Tohoku 四季の絶景ドライブルート
- ・ Tohoku 信仰文化と世界自然遺産ルート
- ・ Tohoku 夕日と海岸線ドライブルート
- ・ Tohoku 伝統の職人技と歴史ルート

ドライブルート特設 WEB ページのモデルルート及び訪問スポットについて多言語翻訳（英・繁・韓・タイ）を実施し、公開した。



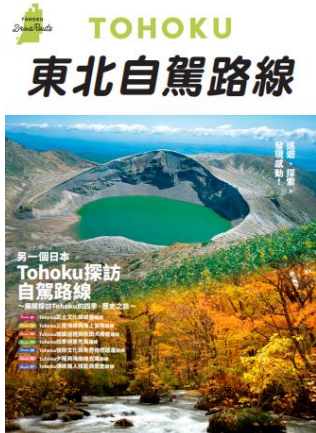
周遊ドライブルートWEB トップページ (英)



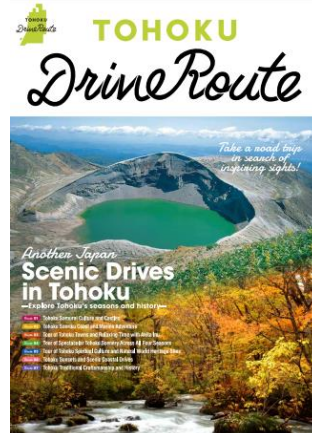
ドライブルート各ページ (英)

(2) 広域周遊ドライブモデルルートのリーフレットの制作

特集 WEB ページの認知度向上させるため、旅行博、旅行会社商談会、招請事業でのアナログツールとして、専用パンフレットを多言語翻訳（英・繁）の上制作した。東北で広域に点在する魅力コンテンツ画像を多数掲載し、東北への興味を喚起するツールとして使用していく。



ドライブルートパンフレット (繁)



ドライブルートパンフレット (英)

(3) 周遊ドライブルートモニターツアーの実施

7つのモデルルートに対して、外国籍の方にモデルルートを参考に事前にアレンジしてもらい、レンタカー運転体験を実施するモニターツアーを実施した。

ルートテーマに沿った訪問地の選定、公共交通機関だけでは訪問できない東北の雄大な景色、荷物の運搬や時間を気にしないで済むレンタカーの利便性には満足の声が多かった。一方、通年向けのモデルルートのため、季節により日没時刻や営業時間短縮施設のため見学できない施設があった。

訪問箇所の数や走行距離が長い、等の声もあった。これらの声と回収したアンケートを分析し、モデルルートの見直しを行った。



浄土ヶ浜 帯同の様子



出羽三山神社 帯同の様子

(4) 広域周遊ドライブルート及び観光体験コンテンツの販売促進・海外OTA掲載

周遊ドライブモデルルートの活用は訪日 FIT 客によるレンタカー周遊が主であることから、レンタカー商品（Tohoku Drive Route 満喫クーポン付）を造成し、海外OTA（kkday）に掲載して販売を開始した。合わせて、周遊Drive 入場クーポンを海外現地旅行会社にPRしレンタカー客に訴求協力を依頼した。観光体験コンテンツ販売についても、海外OTAへの掲載支援及び、東北特集ページ公開（kkday）による訴求を行った。



レンタカー商品の掲載



東北特集ページの公開



観光体験コンテンツの掲載

(5) ドライブルート造成・販路形成事業のまとめ

レンタカー活用による広域周遊をさらに進めるには、特に FIT 向けにモデルルートの訴求が必要である。そのため、旅行博、空港到着客、レンタカー利用リピーターに訴求を進める事が重要である。同時にインバウンド向けに魅力ある体験コンテンツ情報の整備・発信を海外旅行会社、ランドオペレーター、海外OTAを通じて継続実施されるよう支援を行った。

4. 宮城県復興支援伝承課 交流人口拡大による被災地活性化事業

宮城県の震災関連施設来館者向上の目的で五か年計画にて実施する「震災学習目的層以外の一般個人旅行を流入させる仕組みづくり（活性化）」事業を実施した。

(1) モデルルートの検討・造成（CRM アンケート）

宮城県内の観光スポットで「DMP データ上では訪問数上位ではないが、実際には興味度が高いスポット」がどこかを検証するため、各所の認知度・興味度について CRM アンケートを実施した。結果は亙理はらこ飯等の食に関する興味度が高い一方、アウトレット等ショッピングの興味度は比較的低い傾向がうかがえた。CRM で検証を踏まえながら、県庁との協議の上、モデルコースを決定した。

(2) モニターツアーの実施

上記を踏まえたモデルコースでモニターツアーを全3回実施した。

行程は以下のとおり。BT 参画旅行会社や仙台に拠点をもつ旅行会社を中心に各回 10 名程度の参加。

- ① 石巻・松島コース(11月4日)
 仙台駅-塩釜水産仲卸市場(朝食)-松島遊覧船乗船-いしのまき元気いちば(昼食)-石巻南浜津波復興祈念公園-震災遺構・門脇小学校-石ノ森萬画館-夕食-仙台駅解散
- ② 仙台・名取コース(11月12日)
 仙台駅-ゆりあげ港朝市(朝食)-震災遺構・荒浜小学校-アクアイグニス仙台-かわまちてらす閑上(昼食)-鐘崎総本店笹かま館かまぼこ作り体験-仙台うみの杜水族館-三井アウトレットパーク仙台港-仙台駅解散
- ③ 宮城県南域コース(12月23日)
 仙台駅-金蛇水神社-和風レストラン田園(はらこ飯/ほっき飯/かき飯昼食)-震災遺構・中浜小学校-やまもと夢いちごの郷いちご狩り-道の駅かくだ土産購入-夕食-仙台駅解散

(3) 特設ページ・パンフレットの制作

ご当地じゃらんを駅たびコンシェルジュ(仙台駅・福島駅・山形駅)に配架設置した。



パンフレットご当地じゃらん

5. 内閣官房 国際博覧会推進本部 事業連携

『WOW! BASE』を活用したZ世代プロモーション立案プログラム

Z世代を対象とした大阪・関西万博機運醸成事業の一環として、参加者に対する地域理解講座を行いプロモーションを立案させるプログラム。広域 DMO として、東北の魅力や強み、課題や現状、目指す将来像、戦略や方向性等の資料を作成し、3/8・9にて講義説明を行い、3/15に全体発表会での講評を行った。



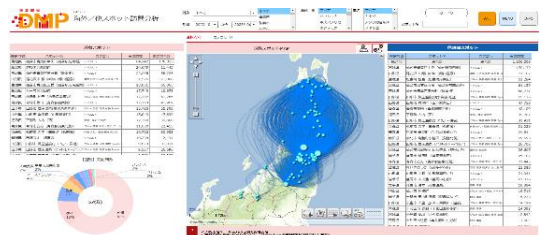
講義の様子

6. マーケティングプラットフォームの構築と展開

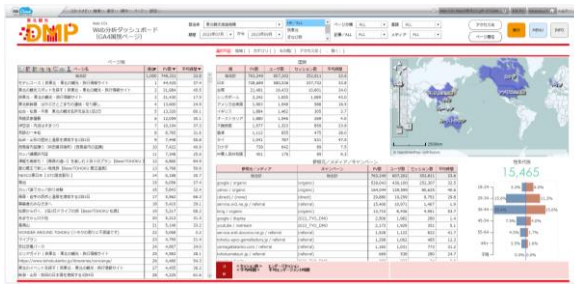
(1) 広域マーケティングプラットフォームの活用(東北観光 DMP)

① ユーザーインターフェース向上と域内 DMO 等への展開

- ・東北観光 DMP の利用に係る契約(4月、5月)
 東北6県及び新潟県と利用に係る契約を締結した。
- ・2023年度参入自治体の DMP 分析環境構築(5月~7月)
 新規参入した岩手県及び山形県の DMP 分析環境(WEB アクセスデータ、SNS データの格納・可視化)を構築した。



動態分析ダッシュボード一例



WEB アクセスデータ分析ダッシュボード一例



SNS (Facebook) 分析ダッシュボード一例

- ・東北観光 DMP 操作研修会の開催（5月18日：青森県観光物産館アスパム）
青森県職員及び青森県内 DMO の DMP 担当者等に対して、東北観光 DMP の概要及び基本操作について説明し、併せて操作演習を行った。
- ・グーグルアナリティクス4（GA4）への対応（4月～7月）
東北6県、新潟県及び仙台市におけるホームページのGA4データを東北観光 DMP で可視化した。
- ・レスポンス対策及び国内動態日別データの可視化（6月～8月）
DMP における Dr. Sum Cloud（高速集計データベース）の利用環境を構築し、同クラウドに国内動態データ（Agoop 社提供）を収納することにより、データ集計処理の高速化（レスポンス改善）と国内動態日別データの可視化を行った。
- ・域内 DMO 等からの東北観光 DMP 利用申請
一般社団法人福島市観光コンベンション協会、株式会社かづの観光物産公社、一般社団法人田沢湖・角館観光協会、一般社団法人男鹿市観光協会（現株式会社おが地域振興公社）、一般社団法人気仙沼地域戦略、一般社団法人 DEGAM 鶴岡ツーリズムビューロー、一般社団法人上市市観光物産協会、一般社団法人横手市観光推進機構、株式会社八幡平 DMO、株式会社かまいし DMC、公益社団法人新潟県観光協会、おもてなし山形株式会社、一般社団法人宮古観光文化交流協会、一般社団法人やまがたアルカディア観光局、プラットヨネザワ株式会社、公益財団法人福島県観光物産交流協会、仙台観光国際協会、※一般社団法人世界遺産平泉・一関 DMO、※一般社団法人秋田県観光連盟、※一般社団法人郡山市観光協会、※（一社）いわき観光まちづくりビューロー、※（一社）会津若松観光ビューロー、※公益社団法人宮城県観光連盟

→3月末現在 DMP 利用 DMO 数：22 2024年度新規利用 DMO 数：6（※印）

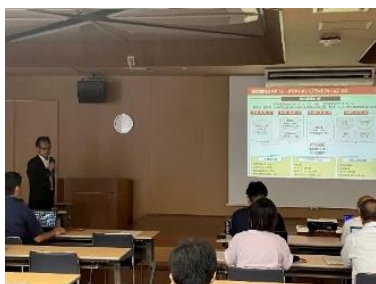
② 宮城県知事に対する東北観光 DMP のデモンストレーション（6月15日：宮城県庁）

宮城県へ東北観光 DMP の実際の画面をスクリーンに投影し操作を交えながら、宮城県の公式 HP である「VISIT MIYAGI」を対象とした Web 分析や海外動態の分析を、1年あるいは季節ごとに比較した場合の国籍別で PV 数や来訪数の違い比較できるなど、東北観光 DMP を今後の観光施策に活用できることを説明した。

③ 東北観光 DMP 研修会

2023年度より東北観光 DMP に参画した県（岩手県・山形県）や東北運輸局職員等の東北観光 DMP の理解、操作習熟を目的とした研修会を開催。東北観光 DMP の概要、基本操作、DMP を活用した現状分析及び仮説設定の演習を実施した。

- ・岩手県（第1回：8月2日、第2回：8月31日）
- ・山形県（第1回：8月22日、第2回：9月14日）
- ・東北運輸局（1月25日）



研修会の様子(岩手県)



研修会の様子(山形県)



④ 東北観光 DMP 担当者会議

東北6県、新潟県及び仙台市のDMP担当者及びプロモーション担当者と東北観光DMPの活用促進を目的とした情報共有及び意見交換を実施した。

- A. 第1回DMP担当者会議（6月27日）
 - a. 東北観光DMPの概要、基本操作、活用事例紹介
 - b. 東観推及び各県市が実施するデジタルプロモーションに関する情報共有及び意見交換、DMPを活用したHP、SNSの分析手法の紹介
 - c. DMPのDMO・観光協会への利用拡大に係る意見交換
- B. 第2回DMP担当者会議（9月27日）
 - a. 新規リリース機能説明（国内動態日別対応、スポット見直し）、今後のリリース予定機能（クロス分析ダッシュボード）
 - b. 活用事例紹介（VISITはちのへ 西野 正紀氏）
 - c. 2024年度東北観光DMP関係費用（自治体支出）及びダッシュボードの整理について意見交換、DMPを利用しているDMO・観光協会の一覧について情報共有
- C. 第3回DMP担当者会議（12月15日）
 - a. 今年度新たにリリース予定のWeb分析ダッシュボードとクロス分析ダッシュボードの概要及び操作方法について説明
- D. 第4回DMP担当者会議（3月7日）
 - a. 合同会社六根より東北観光DMPのデータから示唆を得る流れと分析事例について説明
 - b. 来年度購入予定の有償データの内容やDMP格納データの取扱いについての説明・意見交換
 - c. 東北観光DMPを活用した訪東北外国人実態調査事業報告
 - d. 東北観光DMPを活用したポストコロナ観光戦略策定事業報告
 - e. 2024年度有償データ格納及び分析スケジュール



担当者会議の様子



会議の様子

⑤ 動態・消費データ等実装

- A. 国内動態データ（Agoop）
 - a. 2022年1月～12月、2023年1月～6月 → 7月末に可視化
 - b. 2023年7月 → 8月末に可視化
 - c. 2023年8月 → 9月上旬に可視化
 - d. 2023年9月分 → 10月5日にデータ納品 → 10月13日に可視化
 - e. 2023年10月分 → 11月5日にデータ納品 → 11月10日に可視化
 - f. 2023年11月分 → 12月5日にデータ納品 → 12月11日に可視化
 - g. 2023年12月分 → 1月5日にデータ納品・可視化
- B. 海外動態データ（インテージ）
 - a. 2023年1月～3月 → 7月末可視化
 - b. 2023年4月～6月分 → 10月24日にデータ納品 → 10月31日に可視化
 - c. 2023年7月～9月分 → 1月26日にデータ納品 → 1月31日に可視化
 - d. 2023年10月～11月分 → 3月26日データ納品 → 4月末に可視化予定

C. 消費購買データ（三井住友カード）

- a. 2023年1月～5月（国内・海外） → 7月末に可視化
- b. 2023年6月～9月分 → 11月29日にデータ納品 → 11月30日に可視化
- c. 2023年10月～12月分 → 2月27日にデータ納品 → 2月29日に可視化

D. 観光案内所におけるアンケートデータ（2022年度東北観光動向調査）

東北旅行者WEBアンケート調査（2022年10月～2023年3月分：780サンプル）について、DMPにデータを格納、可視化。

E. CRMを使ったアンケートデータ（2023年度東北観光動向調査）

2023年第1半期（4月～6月）、第2四半期（7月～9月） → 3月21日に可視化

7. 「ジャパン・ツーリズム・アワード2023」入賞

本年度より、観光庁において毎年実施していた観光庁長官表彰とジャパン・ツーリズム・アワードが統合された第7回「ジャパン・ツーリズム・アワード」において、東観推が構築した東北観光DMPやCRMシステムを東北域内の自治体やDMOに有効活用してもらいながら、戦略的マーケティングやプロモーションのPDCAサイクル効率化・深度化を図り、持続可能な観光地域づくりの推進に取り組んでいる内容でエントリーし、東北広域での観光DXの取組が評価され、国内・訪日領域部門で入賞した。

8. 東北観光DMPを活用した訪東北外国人実態調査事業

国際定期便が就航する東北域内の空港で外国人旅客を対象としたアンケート調査（年間2回）を実施し、その結果をDMPでコロナ前の調査結果と比較・分析することで、訪東北外国人の最新のニーズやコロナ後の嗜好変化を把握した。

3空港（仙台・新潟・いわて花巻）で共通する台湾便については、発着空港・キャリアごとに目的や客層も異なっており、10名前後でのツアー旅客が多く、秋期同様に活発な往来となっている。

韓国便・中国便は秋の紅葉シーズンより旅客は減少しているが、発着空港や便数も増加していることもあり、曜日ごとに搭乗率も異なることから単純比較は難しい。

また、各空港ではビジネス・留学、スキー・ボードを持参している方や韓国経由での東南アジア方面からの旅客も散見されるなど、訪日の目的も多様化しており、アジア圏でもFITへシフトしている傾向もみられた。「東北観光DMPを活用した訪東北外国人実態調査」によるアンケート調査データを2月19日DMPへ格納・可視化した。



アンケート調査の様子

9. 東北観光DMPを活用したポストコロナ観光戦略策定事業

消費購買データを活用したクロス分析等ダッシュボード（動態×消費等）を作成し、10月末でクロス分析ダッシュボードの構築を完了。東北観光DMPに格納されている他のマーケティングデータを絡めた複合分析により東北広域の観光戦略を策定し、3月7日の東北観光DMP担当者会議で同ダッシュボード等を活用した分析結果を共有した。

10. マーケティング報告会及び海外観光サポートデスク活動報告会（11月30日）

仙台で「東北観光推進機構マーケティング報告会及び海外観光サポートデスク活動報告会」を開催し、188名（現地参加117名、オンライン参加71名）の参加があった。マーケティング報告会では2023年4月～6月の海外動態分析、消費購買分析を中心に発表した。海外サポートデスクからは具体的な国別の誘客施策について発表があり参加者からはデータに基づいた内容でまた現地の生の声を聞いて非常に有意義な場だったと多数の声を聞かれた。



マーケティング報告会の様子



中国サポートデスク報告

11. ロイヤルカスタマーの獲得と情報発信プラットフォーム拡充

(TOHOKU Fan Club・旅東北HP・SNS・Travmedia)

(1) TOHOKU Fan Club

CRM（カスタマー・リレーションシップ・マネジメント）を活用した持続可能な東北観光を実現するための活動と一緒に応援してくれるファンの会員組織「TOHOKU Fan Club」では、会員（ファン）を募集するとともに、ファンに向けて東北の観光情報やイベント情報の発信を行った。



① 情報発信

No	発信	投稿タイトル	依頼者	会員種別	開封率 (%)
1	4月3日	桜花爛漫、舞鶴山の風物詩「人間将棋」～山形県・天童市～	東観推	-	31.4
2	8日	あのニューヨークタイムズが推薦する観光地・岩手県盛岡市で桜を堪能しよう！	東観推	-	31.3
3	12日	美しさ日本一！「弘前さくらまつり」開催（4/21～5/5）～青森県弘前市～	東観推	-	30.5
4	21日	GWは津軽以外に選択の余地なし!? ～桜だけじゃない！津軽の魅力Part1～	ClanPEONY 津軽	正会員	31.0
5	21日	【繁体字】ドラゴン・アイ	東観推	-	40.2
6	26日	果物もお酒も！新緑の季節は全てが美味しい山形へ！	山形県	正会員	27.5
7	28日	花とラーメンの贅沢コラボ！？福島ラーメンショー2023開幕！！	東観推	-	30.5
8	5月18日	【繁体字】 【タイ語】奥入瀬溪流～東北随一の景勝地 【英語】	東観推	-	34.1 38.0 35.7
9	25日	【繁体字】 【タイ語】只見川と只見線～自然が織りなす絶景～ 【英語】	東観推	-	31.3 37.9 33.1
10	31日	【繁体字】 【タイ語】猊鼻溪～山水画のような景色が見られる溪谷～ 【英語】	東観推	-	29.6 33.9 29.6
11	6月21日	梅雨の風物詩「あじさい」の名所二選！	東観推	-	30.1
12	23日	キャンペーンは終わっても、津軽の魅力は終わらない！	東観推	-	30.7

13	28日	【日本語】 【英語】 一日では足りない男鹿半島の旅 【繁体字】	東観推	-	29.4 32.7 38.2
14	7月5日	【日本語】 【英語】 ご当地アクティビティと名湯を堪能！ 【繁体字】 ～福島市「土湯温泉・高湯温泉・飯坂温泉」～	東観推	-	30.4 35.0 42.5
15	12日	【日本語】 【英語】 見る者すべてを圧倒！完全復活「青森ねぶた祭」！ 【繁体字】	東観推	-	29.4 35.8 50.8
16	19日	名峰・鳥海山が育む神秘のスポット「丸池様」～山形県遊佐町～	東観推	-	29.3
17	21日	東北の可能性は無限大！ 「仙台・東北 学生ドライブスタンプラリーコンテスト2023」 実施！	東観推	-	43.0
18	26日	【日本語】 【英語】 イセキもイルカもオイシイものも！ 【繁体字】 ～こんなにイイところ浅虫温泉～	東観推	-	30.5 34.7 48.9
19	8月9日	小岩井農場で夏休みの思い出をつくろう！ ～8/20まで「夏のまきばフェスタ」開催中～	小岩井 農牧	正会員	28.1
20	10日	福島市で桃にまみれるキャンペーン「ふくしまピーチホリデイ 2023」開催中！	福島市観光 コンベン ション協会	正会員	29.0
21	16日	【日本語】 【英語】 この夏は、スリルと感動を東北で～アクティビテ 【繁体字】 イの宝庫・東北を楽しみつくそう！～	東観推	-	28.7 33.9 43.5
22	23日	【日本語】 【英語】 南部鉄器と銀河と動物と～夏はコンテンツの宝庫、 【繁体字】 つなぎ温泉へ！	東観推	-	28.8 33.9 44.2
23	25日	江戸時代の古民家でタイムスリップ体験！ ～岩手県指定有形文化財『村上家住宅』特別企画～	平泉・ 一関DMO	正会員	28.5
24	29日	磐梯朝日国立公園・浄土平で1日限りのプレミアムイベントを 開催（9月9日）！	JR 東日本	正会員	26.5
25	31日	日本一の芋煮会を特別な3つのプランでゆっくり贅沢に！ ～山形県山形市～	おもてなし 山形	正会員	31.5
26	9月3日	優雅で華やかな「飾山囃子（おやまばやし）」と勇壮な曳山の 「やまぶっつけ」が魅力！～角館祭りのやま行事～	田沢湖・ 角館 観光協会	正会員	36.9
27	5日	【日本語】 2023年に行くべき盛岡・岩手宝探しの旅Vol.1～ 【繁体字】 日本の北国で、この秋限定の特別な体験を～	岩手県	正会員	28.9 44.2
28	6日	甲冑姿で城下町を練り歩き、時代劇気分を味わおう！ ～福島「会津まつり」藩公行列体験～	JR 東日本	正会員	28.5
29	11日	2023年に行くべき盛岡・岩手宝探しの旅Vol.2	岩手県	正会員	28.9
30	15日	ドライブの秋！東北のベストシーズンをお得にドライブ ～「東北観光フリーパス」～	NEXCO 東日本	正会員	33.3
31	29日	いつ来ても紅葉三昧！～田沢湖・角館～	秋田県	正会員	33.2
32	10月2日	【繁体字】 「紹介朋友点数加倍活動」実施中（10月31日截 止）！（台湾友達紹介キャンペーン）	東観推	-	49.0

33	4日	「フルーツ王国山形県」で農作業「サポーター」をしてみませんか！	JTB	正会員	29.5
34	11日	【日本語】 【英語】名所しかない！心奪われる東北・新潟の紅葉 【繁体字】	東観推	-	29.8
35	20日	【日本語】 【英語】温泉ファンも将棋ファンも！ 【繁体字】～懐深く旅人を魅了する天童温泉～	東観推	-	31.4
36	31日	【タイ語】 ถ้าคุณต้องการไปเที่ยวและหิมะ น้ำคือฤดูกาลที่ดีที่สุด ! (紅葉と雪が見たいならこれからが最高の季節です)	東観推	-	44.8
37	11月8日	福島を満喫しよう！ ～「ふくしま秋観光キャンペーン」開催中～	福島県	正会員	29.6
38	22日	【日本語】 【英語】月岡で新潟の魅力を再発見！ 【繁体字】～エメラルドグリンの温泉とお酒と文化と～	東観推	-	28.4 48.3 43.1
39	29日	【日本語】 【英語】宮城が誇る日本三景・松島の必見スポットを 【繁体字】ご紹介！	東観推	-	27.8 43.3 38.3
40	12月6日	【日本語】 【英語】岩手の空の玄関口！ 【繁体字】～賢治ゆかりの「花を旅しよう～	東観推	-	29.4
41	14日	ANAで「福島へ“来て”らっしゃいキャンペーン」実施中！～福島空港で使えるクーポンをGETしよう！	ANA	正会員	30.2
42	20日	東北最大級のイルミネーションを小岩井農場で楽しもう！～「銀河農場の夜2023」開催中～	小岩井農牧	正会員	39.0
43	22日	見どころモリモリ！冬の青森！～ANA トラベラーズダイナミックパッケージでお得なクーポン配布中～	ANA	正会員	27.6
44	27日	【繁体字】東北ファンクラブ会員限定！～東北旅行に使える「東北ドライブルート満喫クーポン」(約6,000円相当)をプレゼント中！～	東観推	-	44.8
45	1月18日	【英語】Discover Japan～東北の北部で極上の味覚を 【繁体字】堪能しませんか～	八幡平	正会員	44.6
46	24日	【日本語】 【英語】冬にも熱い感動を～東北の冬のまつり～ 【繁体字】	東観推	-	31.5 48.9 44.2
47	31日	【日本語】 【英語】“東北のハワイ”で冬も盛り上がりよう！ 【繁体字】	東観推	-	28.0 51.5 39.6
48	2月8日	アクティビティを半額で楽しめる！「秋田プレミアム冬アソビクーポン」キャンペーン実施中～2月末まで～	秋田県	正会員	31.1
49	9日	【日本語】いまだけ！冬の絶品地元グルメ尽くし！宮城県で 【英語】豊かな食を堪能あれ！ 【繁体字】	東観推	-	30.9 51.0 36.2
50	16日	【英語】東北の桜を見に行きませんか～桜の名所シリーズ①～ 【繁体字】	東観推	-	48.1 36.2
51	16日	気仙沼・南三陸のグルメと景勝と震災の学びに心動かされる親子日帰り旅に出かけよう！	東観推	-	29.6

52	22日	石巻・松島の雄大な海の恵みと景勝、震災の記憶に触れる親子日帰り旅に出かけよう！	東観推	-	29.9
53	22日	【英語】東北の桜を見に行きませんか〜桜の名所シリ 【繁体字】	東観推	-	43.3 33.2
54	3月8日	宮城県南でパワースポットやグルメを通して、復興の力強さを感じる親子日帰り旅にでかけよう！	東観推	-	28.4
55	9日	【英語】 【繁体字】秋田県の田沢湖・乳頭・水沢エリアで観光と 【タイ語】温泉を満喫♪	東観推	-	49.4 37.2 48.1
56	15日	仙台から始まる、もっと東北に出会う旅〜もっと！仙台・東北を楽しもう〜	仙台市	正会員	29.1
57	22日	東北の祭りをみんなで応援しよう！〜東北電力グループの地域応援ギフトサービス〜	東北電力 ボランティア	非会員	31.0
58	28日	【英語】 【繁体字】青森県の津軽地方で未知の世界を発見しよう 【タイ語】	東観推	-	43.5 33.5 44.9
59	29日	宮城学院女子大学生が発案！『東北の自然満喫スタンプラリー』開催中！	仙台市	正会員	28.0

東北観光推進機構
2023-06-10

4月8日「ふくしま桃のまみれる」〜「ふくしまピーチホリデー2023」開催中！
福島県で桃にまみれるキャンペーン「ふくしまピーチホリデー2023」開催中！
県民のみなさん、観光客のみなさん、ぜひご来場ください！

4月8日「ふくしま桃のまみれる」〜「ふくしまピーチホリデー2023」開催中！
福島県で桃にまみれるキャンペーン「ふくしまピーチホリデー2023」開催中！
県民のみなさん、観光客のみなさん、ぜひご来場ください！

ツガル ツナガル

(No.4. Clan PEONY 津軽)
GWは津軽以外に選択の余地なし！

東北観光推進機構
2023-06-10

緑の季節は山形へ！
山形県は、豊かな自然と歴史を誇る「緑の王国」です。山形県は、豊かな自然と歴史を誇る「緑の王国」です。山形県は、豊かな自然と歴史を誇る「緑の王国」です。

山形県は、豊かな自然と歴史を誇る「緑の王国」です。山形県は、豊かな自然と歴史を誇る「緑の王国」です。山形県は、豊かな自然と歴史を誇る「緑の王国」です。

(No.6. 山形県)
新緑の季節は山形へ！

東北観光推進機構
2023-06-10

夏のまきばフェスタ開催中！
小岩井農場で夏の思い出をつくらう！〜8/20まで「夏のまきばフェスタ」開催中〜
小岩井農場のまきばには、動物と触れ合ったり、大人も子どもも楽しめるアクティビティがたくさん！そんな「まきば」では、動物とのイベントや楽しいアクティビティなど開催中！8/20日まで「夏のまきばフェスタ」を開催中！ぜひご来場ください！
〜小岩井農場まきば「夏のまきばフェスタ」のご案内〜

(No.19. 小岩井農場)
夏のまきばフェスタ開催中

東北観光推進機構
2023-06-10

福島市で桃にまみれるキャンペーン「ふくしまピーチホリデー2023」開催中！
Fukushima Peach Holiday
**ふくしま 2023
ピーチホリデー**
2023年7月14日(金)〜9月10日(日)

一社「福島観光コンベンション協会（DMO）」は、7月14日（金）〜9月10日（日）までの2か月間、福島市の観光を促進するキャンペーン「ふくしまピーチホリデー2023」を開催します。今年で2年目となる「ふくしまピーチホリデー」は、「観光客の満ちた福島」を目標として2022年からスタートしました。

(No.20. 福島観光コンベンション協会)
福島市で桃にまみれるキャンペーン「ふくしまピーチホリデー2023」開催中！

東北観光推進機構
2023-06-25

江戸時代のお宿でタイムスリップ体験！〜昔ながらの宿で文化財「村上茶屋」特別企画〜
「古民家」という言葉をよく聞かれますが、以前は、現存もなかった「古民家」ですが、その価値や精神はたゞいまも、近年、国内外の観光客から注目を浴びています。そんな古民家の中心地、一期町に「古民家」は、昔ながらの宿で文化財と認定されたお宿を今も大切にしています。建築や歴史を学ぶだけでなく、お宿に滞在して、江戸時代のお宿の魅力を体験することができます。ぜひご来場ください！

古民家の暮らし体験
Old Local Life Experience

(No.23. 世界遺産平泉・一関DMO)
古民家でタイムスリップ体験！

東北観光推進機構
2023-06-31

日本一の芋煮会を特別に3つのプランで中取り開催！〜山形県山形市〜
2023年9月17日（日）に開催予定の山形市の秋の風物詩「第35回日本一の芋煮会フェスティバル」。3年ぶりの遠客開催となる今回は新たに「仙台長客のバスツアー」「IMOHNI LOUNGE」「キャンプカープラン」の3つのプランが追加されました！

(No.25. おもてなし山形)
日本一の芋煮会を特別な3つのプランで

東北観光推進機構
2023-06-10

伝統的でやまな「角館まつり」と「角館観光協会」が力づくで〜角館まつりのお祭り〜
角館まつり、江戸時代からの歴史が感じられる町、伝統文化の宝庫を、一年を通じて多くの観光客が訪れる街です。そんな角館で毎年7月7〜9日に開催される「角館まつり」は、角館の歴史や文化を伝える貴重な機会です。ぜひご来場ください！

(No.26. 田沢湖・角館観光協会)
角館まつりのやま行事

東北観光推進機構
2023-06-10

2023年に行くべき盛岡・岩手宝探しの旅
2023年に行くべき盛岡・岩手宝探しの旅
「Fukushima gem」
アメリカのニュー・ヨークタイムズが「2023年に行くべき」として、ロンドンに2度目にも選ばれる岩手県盛岡市をこのように紹介しました。

(No.27. 岩手県)
2023年に行くべき盛岡・岩手宝探しの旅

東北観光推進機構
2023-06-10

甲斐駒で盛り上げよう！〜「甲斐駒まつり」開催中〜
甲斐駒まつり、江戸時代からの歴史が感じられる町、伝統文化の宝庫を、一年を通じて多くの観光客が訪れる街です。そんな甲斐駒で毎年7月7〜9日に開催される「甲斐駒まつり」は、甲斐駒の歴史や文化を伝える貴重な機会です。ぜひご来場ください！

(No.28. JR 東日本)
会津まつり



(No30. NEXCO 東日本)
東北観光フリーパス



(No31. 秋田県)
いつ来ても紅葉三昧！



(No43. ANA)
見どころモリモリ！冬の青森！～ANA
トラベラーズダイナミックパッケージ
でお得なクーポン配布中～



(No45. 八幡平 DMG)
Discover Japan～東北の北部で極
上の味覚を堪能しませんか～



(No48. 秋田県)
アクティビティを半額で楽しめる！
「秋田プレミアム冬アソビクーポン」
キャンペーン実施中



(No56. 仙台市)
仙台から始まる、もっと東北に出会う旅



(No57. 東北電力カフロンティア)
東北の祭りをみんなで応援しよう！



(No. 59 仙台市)
宮城学院女子大学生が発案！『東北の自然満
喫スタンプラリー』開催中！

②アンケート

No	発信	アンケート内容	依頼者	会員種別	サンプル数 (回収率)
1	5月1日	【タイ】日本東北観光フェア2023	東観推	-	284
2	28日	【オーストラリア】SNOW EXPO SYDNEY	東観推	-	195
3	30日	【台湾】東北に関するアンケート	東観推	-	150
4	8月9日	東北観光動向調査（第一四半期）	東観推	-	985
5	30日	【マレーシア】MATTA	東観推	-	296
6	10月23日	【日本語】 【繁体字】東北ドライブルート（北東北）に 【タイ語】関するアンケート	東観推	-	110 110 87
7	11月10日	東北観光に関するアンケート①	仙台市	正会員	310 (100%)
8	12月1日	東北観光動向調査（第二四半期）	東観推	-	1,020

9	7日	【日本語】 【繁体字】東北ドライブルート（南東北）に 【タイ語】に関するアンケート	東観推	-	110 110 10
10	9日	【台湾】日本東北遊楽日	東観推	-	494
11	1月25日	TITF（タイ国際旅行博）B to B B to C	東観推	-	55 219
12	2月3日	【アメリカ】LATAS	東観推	-	242
13	13日	山形県の観光地に関するアンケート	J企	正会員	510 (100%)
14	16日	東北観光に関するアンケート②	仙台市	正会員	310 (100%)
15	3月15日	東北観光動向調査（第三四半期）	東観推	-	1,027

TOHOKU Fan Club への投稿記事については、東観推会員から投稿依頼が多く寄せられ、全103回の投稿のうち、26回が東観推会員からの投稿記事となった。特に今年度は、TOHOKU Fan Clubの海外会員へ向けた投稿依頼も寄せられ、英語1回、繁体字2回の投稿を実施。それぞれ40%以上の高い開封率となった。複数回の配信をした会員もあり、TOHOKU Fan Clubでの記事配信によるプロモーションが会員メリットのひとつとして認識されつつある。今後も記事の質を高め、国内外に東北の魅力を訴求していく。

アンケートについては、TOHOKU Fan Clubにおける適切な収集可能サンプル数や設問ロジックの設定に一定程度の知見が蓄積したこともあり、国内外において多様な調査を展開した。東観推会員からは、仙台市とジェイアール東日本企画からアンケート調査を受託し、いずれも目標のサンプル数を短時間で収集した。

・会員募集状況

3月末時点:本登録会員数 27,840名

海外旅行博やツーリズム EXPO ジャパン 2023 を中心に会員を伸ばし、年度初から3,463名の増加となった。特に台湾やタイを中心に海外会員が全会員の約1割に達したことは、海外への東北の情報発信にとって大きな意味を持つと考えられる。また国内会員については、大阪で開催されたツーリズム EXPO ジャパン 2023 が功を奏し今までやや少なかった近畿圏の会員が全体の16.8%となり、首都圏に次ぐボリュームとなった。

(2) 旅東北HP

域内観光のゲートウェイ機能を持つ多言語ホームページにより、情報発信を継続した。

(3月末現在)

言語	2023年度PV数	2022年度比 (GA4換算値)	2021年度比 (GA4換算値)
日本語	4,340,551	110.0%	88.1%
英語	513,728※	179.5%	290.0%
繁体字	380,261※	401.0%	579.0%
簡体字	18,413	15.9%	27.5%
韓国語	74,170※	263.6%	301.4%
タイ語	88,077※	351.8%	179.8%
合計	1,807,831	122.5%	102.0%

※ドライブルート事業に係る広告を実施した影響

アフターコロナの誘客に向け、SNS を活用し日本国内及び海外に向けて東北の旬な観光情報の発信を行い、幅広い層に向けた東北の魅力発信に取り組んだ。

(3月末現在)

対象	総リーチ数			2023年3月末からのフォロワー増減率
	2023年度	2022年度比	2021年度比	
英語圏 【Facebook】	1,565,938	158.0%	301.8%	99.5%
英語圏 【Instagram】	95,670	149.1%※1	152.9%	124.0%
日本語版 【Facebook】	254,592	93.0%	291.5%	100.4%
日本語版 【Instagram】	466,925	103.5%	584.6%	123.0%
ムスリム圏 【Facebook】	164,161	223.6%	744.2%	98.8%
繁体字 【Instagram】	65,999	93.9%※1	177.5%※1	149.3%
タイ語 【Facebook】	468,561	—	—	199.0%※2
中国 【微博(ウェイボー)】	2,503,484	44.8%	174.7%	100.5%

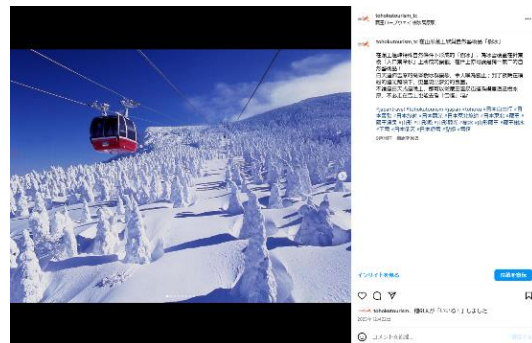
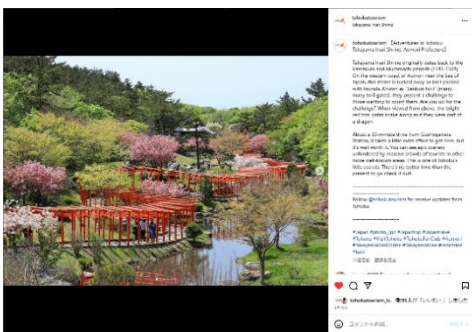
※1 広告を実施した影響

※2 タイ語【Facebook】は2023年度からの運用のため、2023年3月末比としている

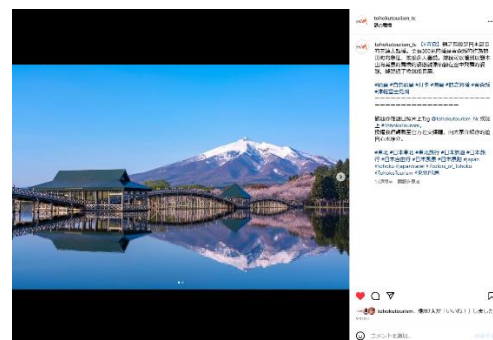
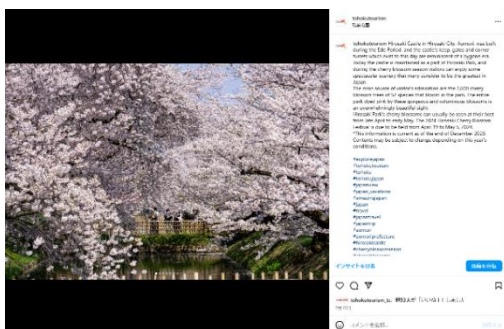
・ SNS 投稿例



日本語での情報発信例



英語圏・ムスリム圏への情報発信例



繁体字での情報発信例



中国への情報発信例



タイ語での情報発信例

多くの有力海外メディアが情報収集の場として利用する「TravMedia」にて、英・米・仏市場を中心に東北に関心の高いユーザーに対して情報発信を継続しており、次の発信を行った。



6月 ねぶた祭り
Feel the Spirit of Summer at the
Aomori Nebuta Festival in Tohoku, Japan



6月 松島
Matsushima: Feel the Sea
Breeze on Your Face on
a Sightseeing Cruise



7月 夏のアクティビティ
Summer Activities to Explore
the Mountains, Rivers, and Seas
of Tohoku, Japan



7月 月山
Mt. Gassan: Hike Through Vast Flower Fields in Summer



8月 歴史、文化
Experience "DATE Culture," a Japan Heritage Fostered by Masamune



8月 芋煮
Join in the fun of "Imoni Parties," a traditional autumn custom in Tohoku, Japan!



9月 紅葉
A Must See! The spectacular autumn leaves of Tohoku and Niigata are a beautiful sight to behold



9月 登山・トレッキング
Mt. Issaikyo: The Cobalt Blue Waters, Known as the "Witch's Eye," Will Leave You Breathless



10月 麺文化
Explore the Diversity of Japan's Noodle Culture, Including Tohoku's Regional Noodles



10月 佐渡
Don't Miss Sado's Scenic Gold Mines and Tarai-Bune (Tub Boat) Rides



11月 冬のアクティビティ
Tohoku Region Is a Mecca for World-Renowned "JAPOW" Powder Snow!



11月 酒田
Sakata: Enjoy Kitamae Cuisine While Watching the Beautiful Sakata Maiko Dance Performance



12月 冬のまつり
The Winter Festivals in Tohoku Are So Beautiful That You'll Forget About the Frigid Cold



12月 三陸鉄道こたつ列車
Sanriku Railway: A relaxing and warm trip on Kotatsu Train, a winter tradition



3月 東北の温泉
 "This is Japan": A Hot Spring With a Breathtaking Views Made Possible by Rich Nature and a Long History

Cycle Your Way Around Mutsu Bay: Enjoy Picturesque Landscapes and Delectable Cuisine!
 Embark on a cycling adventure along the coastlines of Mutsu Bay, surrounded by the Shimada, Mutsu Museum, and the Togeno Peninsula in Aomori Prefecture. This long course spans approximately 270km and offers a rich, multi-day experience of Aomori's cuisine, scenery, culture, and activities, commencing and concluding in Aomori City.
 During spring to summer, numerous attractions await, including the cape blossom fields in Nohaku Town on the Shimada Peninsula, the popular scallops of Hiranai Town, a delicacy of Mutsu Bay, and the opportunity to spot dolphins in the bay!
 One of the advantages of this course is that various railway lines run along it, offering convenience for cyclists worried about their endurance over long distances, as they can easily transport their bikes using the train.



3月 サイクリング
 Cycle Your Way Around Mutsu Bay: Enjoy Picturesque Landscapes and Delectable Cuisine!

12. 域内DMOとの連携

(1) 第1回東北域内DMO会議の開催 (6月29日)

域内の登録DMOのほか候補DMOを合わせてリアル参加24名、オンライン参加31名、JNTOや東北運輸局を含めると80名を超える参加となった。会議の前半では、東観推から訪日プロモーション等をはじめとした今年度の各種事業説明や、東北運輸局から情報提供を行った。後半の意見交換会では、東観推事業への質問意見のほか、DMOの皆さまからコンテンツ造成の現状や課題について発表いただき意見交換を行った。また、東北域内DMO会議終了後には、JNTO主催のインバウンド研修会(初級)が開催された。



会議の様子

(2) 東北域内DMO訪問 (7月~9月)

東北観光推進機構と域内DMOの事業連携や課題などについての議論をより深掘することで、オール東北での誘客促進を加速させることを目的に、域内全DMOへの個別訪問を実施。

東北観光DMPやTOHOKU Fan Clubについての関心が高く利用申請の相談や投稿依頼があった。



Glan PEONY 津軽



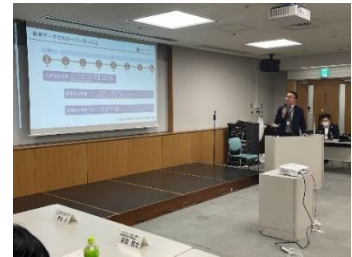
DEGAM 鶴岡ツーリズムビューロー

(3) 第2回東北域内DMO会議の開催 (11月30日)

東北域内の地域DMO・地域連携DMOが一堂に会し、第2回「東北域内DMO会議」を開催した。今回はリアル開催としてDMO28団体、総勢53名が参加した。

第一部では、東観推から2024年度上期活動報告や2024年度事業方針案の説明のほか、東北運輸局から情報提供を行い、第二部では、DMOの事例紹介として、VISITはちのへに「東北観光DMPを活用したマーケティング事例」、会津若松観光ビューローに「地域内連携と高付加価値コンテンツ開発」、山形

県観光物産協会に「観光コンテンツの磨き直しとガイド育成の取組」の各事例を公表いただき取り組み内容を共有いただいた。今後も、国内外から選ばれる観光地域づくり実現に向け、域内DMOとの連携を深めていく。



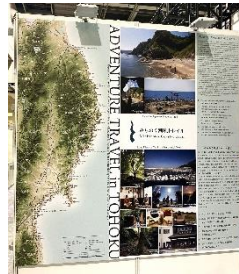
会議の様子

13. ツーリズム EXPO ジャパン 2023 への出展 (10月26日～29日)

世界最大級の旅行博「ツーリズム EXPO ジャパン 2023」が4年ぶりに大阪で開催され、東観推では「見つけた！ここだけの旅、ここだけがある東北」をテーマに JR 東日本と合同ブースを出展。東北を代表する温泉地の紹介や、東北の四季を「桜」「祭」「紅葉」「雪景色」をテーマとしてパネルにし、7県それぞれのコンテンツの紹介など、東北が長期滞在して楽しめるエリアであることをPRした。



ブース全景



みちのく潮風トレイルの紹介



要人の来訪

14. VISIT JAPAN トラベル & MICE マート 2023 への参加 (10月26日～28日)

大阪で開催された VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2023 に参加し、アジア市場を中心に計30社の海外旅行会社と商談を行った。商談では、東北全域の地図を掲載したパンフレット「ムービング東北」を活用しながら、東北の最新情報やプレミアムコンテンツ等を訴求した。各社とも今後の商品造成の素材となるコンテンツを熱心に確認しており、随所で好反応が得られるなど、東北の旅行商品造成に向けて効果的な働きかけができた。



会場の様子



商談の様子



15. JNTO連携事業

(1) JNTO 連携事業 (招請ツアー及び商談会) (招請:11月7・8日、商談会:11月10日)

JNTO との連携事業の一環で、東北エリア旅行商品造成等を目的とした招請事業が実施され、11月7・8日に AT(アドベンチャーツーリズム)を中心に扱っている米国の旅行会社6社6名が宮城県及び福島県を訪問。宮城県では東松島市の「みちのく潮風トレイル」のコースを体験し、福島県では会津若松市にて酒蔵等の視察を行った。招請の最終日にあたる11月10日には、米国に加えカナダの旅行会社との商談会が横浜市で開催され、ATに積極的に取り組んでいる東北の旅行事業者と共に参加した。



招請の様子（野蒜海岸）



商談会の様子



東北側参加事業者

(2) JNTO 海外事務所ミーティング

10月から3月にかけて、17の海外事務所と直接連絡を取りWEBミーティングを実施。2024年度事業方針や今年度の招請事業等の情報交換を行った。

海外事務所	MTG実施日	特記事項
ジャカルタ(初)	10月23日	東北のプロモーションを強化している。 11/8から東北・関東を巡るメディア招請を実施 。雪のイベント等四季を感じることが出来る情報が欲しい。24年度は2大OTAと共同でプロモーション予定。旅行博にも出展予定（8月予定）で東観推とも連携したい。
パリ(初)	10月25日	1月にインフルエンサー招請を東北を中心に実施（新潟県・山形県・秋田県・青森県）。アドバイスを頂きたい。訪日客の約8割はFIT層で年齢層は20～30代。 2024年度はBtoC向けの旅行博など東観推と共同出展できる機会を作る予定。
シドニー(初)	11月6日	新規就航も含め豪州-日本間の航空座席供給量が増加していることから、2023年の訪日客数は2019年比に到達する見込み。 東北はSNOWをもっとプロモーションすべき 。FBとIGから情報収集している方が多いため、JNTOでも定期的に発信。 記事や画像等は是非東北ネタを直接頂きたい。
フランクフルト(初)	11月8日	東北に限らず地域のサステナブルを説明できるコンテンツが必要。1/13～15にドイツ・シュトゥットガルトで開催される BtoCアウトドア旅行博（CMT2024）にてみちのく湖風トレイルのプロモーションを実施したい （来場者数は約6万人程。東観推よりPF等送付）。
クアラルンプール(初)	11月14日	東北のプロモーションは継続的に続けてきた。その中でも桜のシーズンのプロモーションは非常に効果的である。 東北は認知度向上のためメディア招請が効果的ではないか 。週3回SNSで情報発信をしているため、 東観推から英語の記事と画像の提供をお願いしたい。
ロンドン(初)	11月14日	地方誘客に関して強化しているところ。次年度以降、東北・せとうち・九州あたりが人気のある目的になっている。 東北は富裕層をターゲットにするのであれば、ランドオペレーターが重要（オーダーメイド対応） 。個人旅行向けにモデルルートの提案が効果的。今後、 各種商談会で東北ドライブルート等を提案 。
ロサンゼルス(初)	11月21日	AT、クルーズ、富裕層をメインターゲットとし事業実施。また、最近はウィンタースポーツ（スキー）にも注力している。 ATや富裕層をターゲットにするのであればBtoBへのプロモーションが大事 。ATTAと直接やり取りがあり、 ATWSのPSAコースをJNTOとしても発信強化していく 。
ローマ(初)	11月21日	日本国内にてイタリア語で対応できるガイドが絶対的に少ない。イタリアからの訪日客増加のための今後の課題の一つ。主なターゲットは25～40代でSNS、メディアでの発信が有効。 イタリア語で情報発信をするだけで他地域と比べアドバンテージがとれる 。
ニューヨーク(初)	11月28日	東北はBtoC向けには弱いのは事実。 自然・動物・夏祭り・温泉のPRは効果的 。来年度、 東北を招請のコースに組み込むことは可能 。もしくは早めに相談を頂いた上で他エリア+東北（東観推予算等利用）の招請も可能だと考えるが、招請者次第（東北への往訪を推薦するのは可能）
シンガポール(初)	12月13日	シンガポールからの訪日客が好調に推移している。2019年を超える予定。その中でも北海道が好調。東北では青森県・宮城県が好調。 東北もエリアブランドिंगが重要（他エリアはそれで成功している） 。 地方誘客が課題のため、来年度、東北を招請のコースを組み込むことは可能 。
トロント(初)	12月21日	日本の認知度を高めるためBtoC向けの事業予算が多い。来年度北米4事業で共通した招請事業など計画している。 G Adventuresという旅行会社が京都+秋田・岩手を巡る商品を造成し販売開始 。
香港(初)	1月30日	香港はレンタカー利用率が高い。東北は観光地間の距離が遠いため、レンタカー訴求と親和性が高い。 香港市場へのプロモーションで最も外せないテーマは食であることから、東観推事業の食と工芸品のイベントは効果的 。 東観推実施の場合は、食の安全の発信も含め、現地側でのPRに協力し連携する 。
バンコク(初)	2月14日	11月にJNTO主催の旅行博（FITフェア）を2024年度も予定している。来場者はTITFより訪日意欲が高い。東観推会員にも参加の周知を図ってほしい。 来年度、東北を招請のコースに組み込むことは可能 。実施する場合は、 東観推の招請事業と時期が重ならないように調整 。
成都(初)	2月21日	成都・重慶は中国国内第四位の経済圏を形成しており、今後さらなる伸びが期待されている。 PR方法としてはSNS発信（特に写真）が効果的 。 SNS発信において東北の映像等提供して欲しい 。 2024年度は地方誘客を強化するため、招請等で東北をコースに組み込むことは可能 。（佐藤事務所長が山形県主出身の為、東北を今後強く推していきたいと予定）
上海(初)	2月22日	重点訴求エリアとして東北は青森・秋田・岩手各県を設定している 。2024年度はネットワーク、インフルエンサー・メディア招請、日本各地からのライブ配信等の事業を実施予定。 ネットワークや招請事業で東北との連携が可能 。
クアラルンプール(2)	2月22日	現地旅行会社から高付加価値コンテンツをコースに組み込みたいという意見が多数あり。今後、 東北のプレミアムコンテンツを各旅行会社にPRをしていただく 。旅行博出展やOTAを活用した情報発信等連携を強化。MATTIにあわせてベナンで旅行会社向け商談会実施予定
シドニー(2)	2月27日	2024年1月の豪州からの訪日者数が過去最高。すでにセコと白馬はバンク状態に近い。その為、 2024年度の冬の東北のPRは効果的 。2024年度事業として、 Snow Travel Expo出展、インフルエンサー等招請、OTAや航空会社との共同広告 など。地方誘客に注力することで各事業で連携が可能。 スキー・需要は北海道よりは東北の各県が伸びつつある傾向 。新潟について被災地としてSNS発信にて重点的に取り扱いたい。インフルエンサー招請は時期・招請先未定（秋ごろ）。WTM出展者募集は7月頃になる。また、もし 取材の話などがあれば繋ぎたい 。
ロンドン(2)	3月6日	都市部への訪問が多いので、事務所としては地方分散をはかりたい。 免許は保有しているが、車両維持費用が高額なので旅行先ではレンタカーをかなり使用する 。 鉄道+レンタカーの組み合わせはもっと広がりがあると思う 。 アニメフェア（AFA・10～12月）にも出展予定 。相当集客があるので 販促物があればお願いしたい（特にスラムダンク） 。
ストックホルム(初)	3月7日	全体的な日本観はほかの欧米と変わりなし。東北ははじめ日本の各地域への認知は著しく薄い。 これから拡大していく市場だと思う 。需要は小規模家族旅行のようなもので、 ローカルな旅館や健康的な食等に興味がある 。外資系の大規模なホテル等は好まれない。
北米3事務所（ロサンゼルス・ニューヨーク・メキシコ）(2)	3月8日	旅行時に何回も航空機を乗り継ぐのは当然であり、 一度西日本等についてからの航空機で東北ルートもあり得る 。メディア・インフルエンサー・旅行会社招請については東京→西日本ルートがメインになる。 LATASは来年度も出展する予定である 。メディア支援による日本（東北）への取材についても継続して実施するので、 連携していきたい 。
ローマ(2)	3月11日	地方誘客が課題で、BtoC向けにSNS等を活用した情報発信や日本へ取材に来てほしいメディア等への支援 。また大阪万博を契機とした首都圏+地方などの 招請事業を中心に2024年度事業を実施する 。 SNS等の情報発信で是非東北と連携したいという依頼があった 。英語の記事をイタリア語へ翻訳した上で発信していただけたらとの事。
ハノイ(初)	3月15日	地方訪問の希望はあるが、実際は東京やゴールデンルートへの需要がほとんど。 とにかく安くしたいという意向が強く、新幹線利用への期待は薄い 。 バスで南東北に行くのが限度だと思う 。 11月にホーチミンで商談会があるので、こちらについて大枠がかたまったら案内したい 。
トロント(2)	3月21日	国士が広がりで、一度日本に来てからさらに 地方部へ移動することへの抵抗感 はあまりなく、むしろ 新幹線なら乗りたがる 。ルートとしては、東京→関西→東京の帰路に寄ることが考え得る。 11月にSITVに出展するので、共同出展者募集予定 。 3月のOATSは、アウトドアを主眼とした旅行博 。 伸び率が著しい市場といえ、ムスリム層としても温和な方が多いことから最初のムスリム市場としては良い 。スラバヤは中華系が多く特に価格に厳しい。スラバヤ・マダンともに富裕層が多い。 6月から3月まで、ジャカルタ・スラバヤ・マダンでBtoB商談会実施予定 。
ジャカルタ(2)	3月21日	

青字 JNTOからのアドバイス 赤字 連携可能性のある事業

16. 新たな環境に対応した観光人材の育成

(1) 観光人材育成「フェニックス塾」の開催

東北6県と新潟で開催するセミナーとワークショップを通し、オール東北の観点から東北の観光振興策を企画・立案する構想力と実行する行動力を持った人材育成のため「フェニックス塾」を開催しており、2023年度も第八期生50名を迎えて6月より開始した。

	開催日	内容
入塾式 第1回	6月19日 仙台市	<ul style="list-style-type: none"> 主催者挨拶（（一社）東北観光推進機構 松木会長） 入塾証の授与 セミナー「東北観光推進機構の取組み」（東北観光推進機構 紺野理事長）
第2回	7月21日 山形市	<ul style="list-style-type: none"> セミナー「東北観光の現状と未来への展望」（東北観光推進機構 特別顧問 小縣方樹氏） ワークショップ（東北観光の現状把握と課題の洗い出し）
第3回	9月 14、15日 鹿角市	<ul style="list-style-type: none"> セミナー「地域が輝き続けるために必要な観光戦略とは」（リクルートじゃらんリサーチセンター センター長 沢登次彦氏） ワークショップ（チーム毎の研究テーマ設定と現状把握の深化） フィールドワーク（世界遺産縄文遺跡群 大湯環状列石見学、かづのDMO）
第4回	10月20日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> セミナー「ポストコロナ禍の東北観光振興に向けて」（東北運輸局 局長 石谷俊史氏） ワークショップ（テーマに沿った現状把握、課題の洗い出し）
第5回	11月 16、17日 弘前市	<ul style="list-style-type: none"> セミナー「なぜ観光は地域のリーディング産業にならなければならないか」（国土交通省航空局航空 ネットワーク部長 蔵持京治氏） ワークショップ（課題への対応策検討） フィールドワーク（ClanPEONY 津軽観光コンテンツ体験）
第6回	12月22日 盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> セミナー「地方創生と観光開発」（あおもり創生パートナーズ株式会社 専務取締役 高坂幹氏） ワークショップ（課題への対応策検討）
第7回	1月19日 福島市	<ul style="list-style-type: none"> セミナー「地域一体となった共創の未来」（株式会社DMC 天童温泉 代表取締役社長 山口敦史氏） ワークショップ（研究・提言のブラッシュアップ、プレゼン準備）
第8回	3月8日 松島町	<ul style="list-style-type: none"> 修了発表会・修了式 「東北（TOHOKU）を国内外から選ばれる観光地にするには」のテーマについて、各グループごとに提言発表 石谷東北運輸局長（来賓）からの塾生への期待を込めたお言葉



入塾式



ディスカッションの様子



フィールドワークの様子

17. その他 受託事業等

(1) 多賀城市長とともに首相官邸訪問 (8月30日)

紺野理事長は深谷多賀城市長とともに首相官邸を訪問し岸田内閣総理大臣と面会した。

深谷市長から多賀城創健 1300 年記念事業の概要やそれに関する国の支援、11月1日開催の記念式典への総理の出席依頼を行った。

紺野理事長からは多賀城創健 1300 年を契機とした東北全体の活性化に向けた、オール東北連携の必要性や東観推の活動等についてご説明を行った。



東北土産と一緒に



首相官邸にて

(2) 宿泊業界における観光と金融に関する全国懇談会出席 (9月7日)

日本旅館協会が、「宿泊業界における観光と金融に関する全国懇談会」を仙台・秋保にて開催した。菅義偉前内閣総理大臣、観光庁長官、中小企業庁長官、金融庁監督局長等を招き、金融問題をはじめ、コロナ禍で大きなダメージを受けた宿泊業界の様々な問題解決に向けて議論を交わす全国懇談会となった。

東北観光推進機構は、東北運輸局とともに、共催として協力し、紺野理事長も第三分科会「東北の復興と観光振興に向けて」にパネラーとして参加、「東北観光における旅行市場動向について」「震災/コロナ禍からの復活を見据えた今後の観光プロモーション戦略」について、震災以後の取り組み事例等の発表を行った。



菅前内閣総理大臣



第三分科会の様子



宣言採択手交の様子



高橋観光庁長官

(3) 日本観光振興協会東北支部の運営支援業務

東北の観光振興と地域経済活性化を図ることを目的として2021年3月に同協会と締結した事業連携協定を踏まえ、第八期フェニックス塾への同協会による運営支援等を通じて、東北地域における一体的な事業運営に努めるとともに、7月11日には日観振東北支部第60回会員総会及び東北ブロック広域観光振興事業推進協議会を開催した。

V. その他事業

1. フェニックスアワード2022

「フェニックスアワード」は、東北・新潟に関わる観光振興を通じ地域の活性化に貢献し、その功績が顕著であった団体・個人の皆様を表彰し、さらに当地域の観光発展に寄与することを目的として一昨年創設された。

審査委員会による審査の結果、第3回目の受賞団体3組を決定し、6月5日に行われた東北観光推進機構第7回通常総会にて表彰式を行った。



一般社団法人 Clan PEONY 津軽様



株式会社かつの観光物産公社様



小岩井農牧株式会社観光部様

【受賞団体の功績概要】

一般社団法人 Clan PEONY 津軽（津軽エリア内体験型商品予約 DX 化事業）

- ✓ 津軽エリア内の体験型商品を ツガルツナガル体験 ツガルツナガル体験ページ（青森県津軽地域観光情報サイト Time Trip TSUGARU 内）から一元的に予約できるようにした。
- ✓ サイトへの掲載は無料とし、成約件数に応じた手数料（大手 OTA よりも 2 %ほど割安）を DMO が徴収する仕組み。
- ✓ 販売データや流入分析を行い、販売商品のプロモーションにも役立っている。



株式会社かつの観光物産公社（地域の資源を有効活用した多角的な誘客事業）

- ✓ 鹿角市にある 3 つのユネスコ無形文化遺産（大日堂舞楽、花輪ばやし、毛馬内盆踊り）の伝統文化の継承と共に継続的な誘客に繋げることを目的としてイベントを実施した。
- ✓ 市民の「地域を想う気持ち」の醸成や SDGs 貢献の一環として地域の資源を有効活用するイベントを企画した。
- ✓ 「稼ぐ文化」による好循環や次世代への継承、他市町村との差別化による着地型観光への転換を図るため、大湯環状列石をより深く、よりリアルに伝える体験プログラムを造成した。



小岩井農牧株式会社観光部（小岩井農場めぐりバスツアー【SDGs 自己探究】コース）

- ✓ 小岩井農場が昔から行ってきた営みを SDGs と関連付けて学習プログラムとして展開した。
- ✓ 循環型社会への取り組み、畜産農業の活性化、観光交流人口の拡大など、持続可能な地域観光の中心的な役割を果たしている。
- ✓ プログラム自体は 2009 年から続いているが、2021 年には教育現場での「探究学習」ニーズの高まりにこたえて「【自己探究】コース」を設定した。



以上